

バックアップ &
リストアツール

NetStor Backup for Windows NetStor Backup for Linux NetStor Restore for Windows

ユーザズマニュアル 第15版
2021/11/1



■ 本書は以下のソフトウェアの対応版です。

バックアップ	ソフトウェア名称	ソフトウェアバージョン	NASバージョン
NetStor Backup for Windows ^{※1}	Ver.2.0.3.0 以降	WS IoT 2019 for Storage または、WSS2016 搭載モデル (NSB-96 シリーズを除く)	NAS ツール Ver.7.04 以降
		WSS2016 搭載モデル (NSB-96 シリーズのみ)	NAS 管理ツール Ver.5.74 以降
NetStor Backup for Linux	Ver.3.0.22 以降	NSB-7A/5A シリーズ	ファームウェア Ver.4.3.6.1300 以降

リストアツール	ソフトウェア名称	ソフトウェアバージョン
NetStor Restore for Windows		Ver.1.2.0.0 以降

※1 NetStor Backup for Windows は、NAS ツール（NAS 管理ツール）に包括されています。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
 注意	操作上で注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、正常に動作できない場合があります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アSEMBル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、エレコム・ネットワーク法人サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および TM は省略させていただきました。
- 本マニュアルは最新バージョンを基に記載しています。他のバージョンでは表記や機能が異なる場合があります。

本ツールの免責事項について

免責事項

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

サポートサービスについて

下記のエレコム法人様サポートセンターへお電話でご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

エレコム法人様サポートセンター（ナビダイヤル）

TEL：0570-070-040

受付時間：9:00～12:00、13:00～18:00 月曜日～土曜日

※祝日、夏季・年末年始休業日を除く

※PHS・一部のIP電話からはご利用いただけません。お手数ですがNTTの固定電話（一般回線）や携帯電話からおかけくださいますようお願いいたします。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

エレコム法人様サポートセンターにお電話される前に

サポートページで「よくある質問」をご確認ください。

「よくある質問」をお読みいただいても解決しない場合は、以下をご用意のうえ、お電話をお願いします。

- ・ 製品の型番
- ・ ご質問内容（症状、エラーメッセージ、やりたいこと、お困りのこと）

もくじ

Chapter 1	説明編	5
1.1	概要.....	6
Chapter 2	バックアップ編「NetStor Backup for Windows」	7
2.1	インストール方法.....	8
2.2	起動方法.....	9
2.3	バックアップタスクを追加する.....	10
	■ クラウドサービス別のバックアップ設定方法.....	14
	・ Amazon S3 の場合.....	14
	・ Microsoft Azure の場合.....	15
	・ Box の場合.....	16
	■ ローカルバックアップの設定方法.....	19
2.4	バックアップ設定の制限事項.....	20
2.5	メイン画面について.....	23
2.6	バージョンの確認方法.....	27
Chapter 3	バックアップ編「NetStor Backup for Linux」	28
3.1	インストール方法.....	29
3.2	起動方法.....	31
3.3	バックアップタスクを追加する.....	32
	■ クラウドサービス別のバックアップ設定方法.....	37
	・ Amazon S3 の場合.....	37
	・ Microsoft Azure の場合.....	38
	・ Box の場合.....	39
	■ ローカルバックアップの設定方法.....	43
	■ ローカルレプリケーションの設定方法.....	43
	■ リモートバックアップの設定方法.....	44
	■ リモートレプリケーションの設定方法.....	45
3.4	バックアップ設定の制限事項.....	46
3.5	メイン画面について.....	50
3.6	バージョンの確認方法.....	54
Chapter 4	リストア編「NetStor Restore for Windows」	55
4.1	動作環境.....	56
4.2	インストール方法.....	57
4.3	起動方法.....	58
4.4	データをダウンロードする.....	59
4.5	メイン画面について.....	65
4.6	アンインストール方法.....	66
4.7	バージョンの確認方法.....	67

Chapter 1



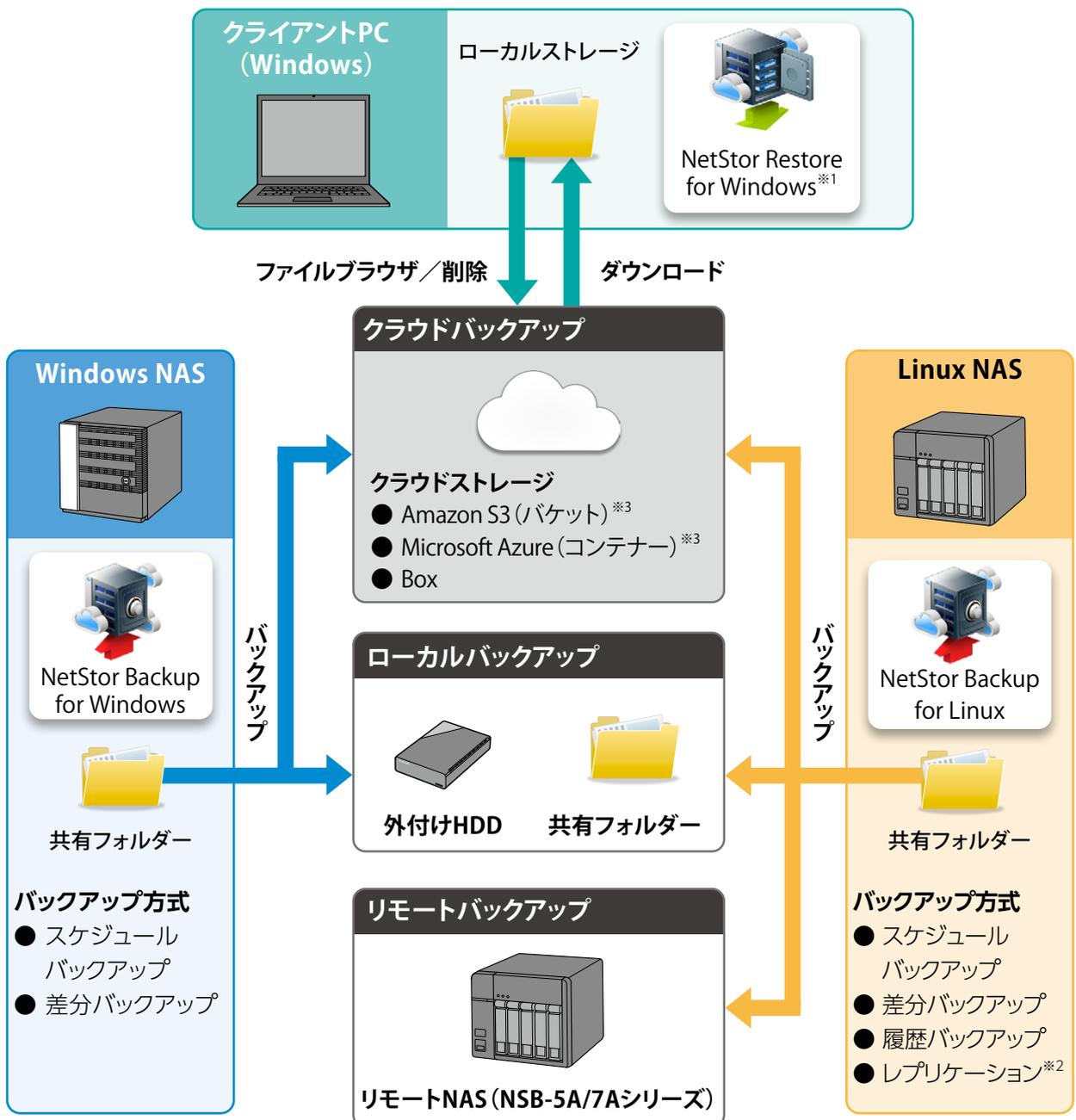
説明編

1.1 概要

本ソフトウェアを利用すると、エレコム製NAS（以下NAS）のデータのバックアップを円滑に行うことができます。

バックアップ先として、クラウドストレージサービス、外付けHDD等のローカルバックアップ、リモートバックアップを選択できます。

また、NetStor Restore for Windowsを使用することで、クラウドストレージにバックアップしたデータをクライアントPCから閲覧や削除、ダウンロードができるようになります。



※ 1 NetStor Restore for Windows は Windows NAS 内にもインストール可能です。その場合はリモートデスクトップで操作します。

※ 2 レプリケーションはローカルバックアップ、リモートバックアップのみ対応です。

※ 3 「バケット」、「コンテナ」ともクラウドストレージ上にファイルやフォルダーを置いておくための入れ物です。それぞれのサービスにより名称が異なります。Amazon S3 → 「バケット」、Microsoft Azure → 「コンテナ」

Chapter 2

バックアップ編

「NetStor Backup for Windows」

「NetStor Backup」を使うと、NAS上にあるフォルダーを簡単にクラウドストレージやローカルストレージなどにバックアップすることができます。
また、バックアップは、決められた日時に定期的に行うように設定できます。

2.1

インストール方法

NetStor Backup for WindowsはあらかじめNAS内のWindows Storage Serverシステムにインストールされています。「2.2 起動方法」(9 ページ)を参照して本ソフトウェアを起動してください。

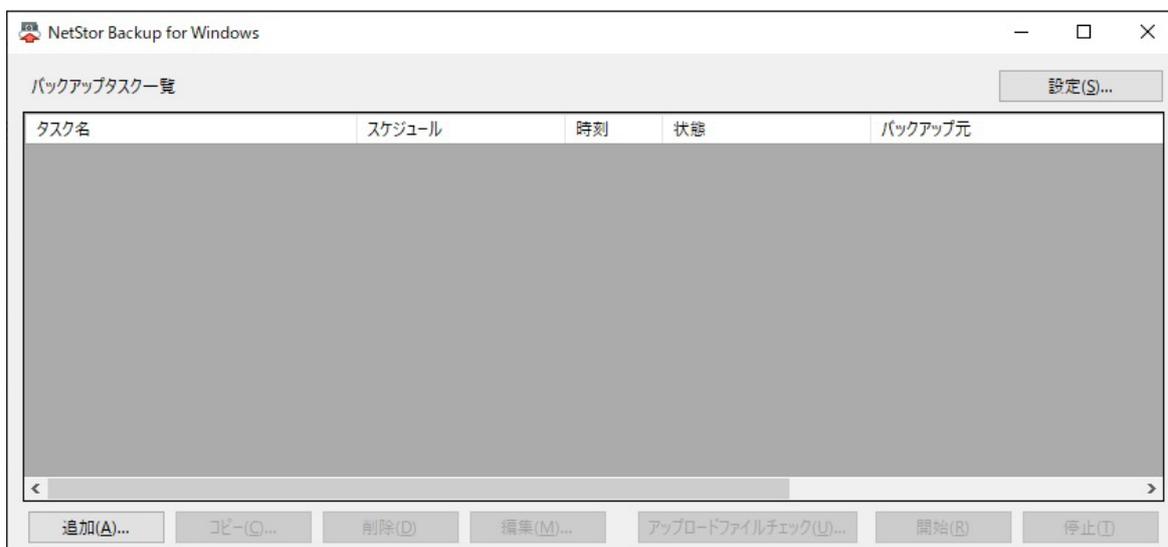
2.2 起動方法

クライアントPCなどからリモートデスクトップ接続などで起動してください。

NAS内のWindows Storage Serverのスタートメニューから
[すべてのアプリ] → [Elecom] → [NetStor Backup for Windows] の
順でクリックします。



NetStor Backupが起動し、メイン画面が表示されます。



MEMO

クラウドストレージサービスにバックアップする場合は、事前にクラウドストレージサービスの契約（アカウント作成等）をお願いします。

クラウドストレージサービスの通信料金、規約等につきましては、対象クラウドストレージサービスのホームページをご確認ください。

[対応クラウドサービス]

- Amazon S3
<https://aws.amazon.com/jp/s3/>
- Microsoft Azure
<https://azure.microsoft.com/ja-jp/>
- Box
<https://www.box.com/ja-jp/home>

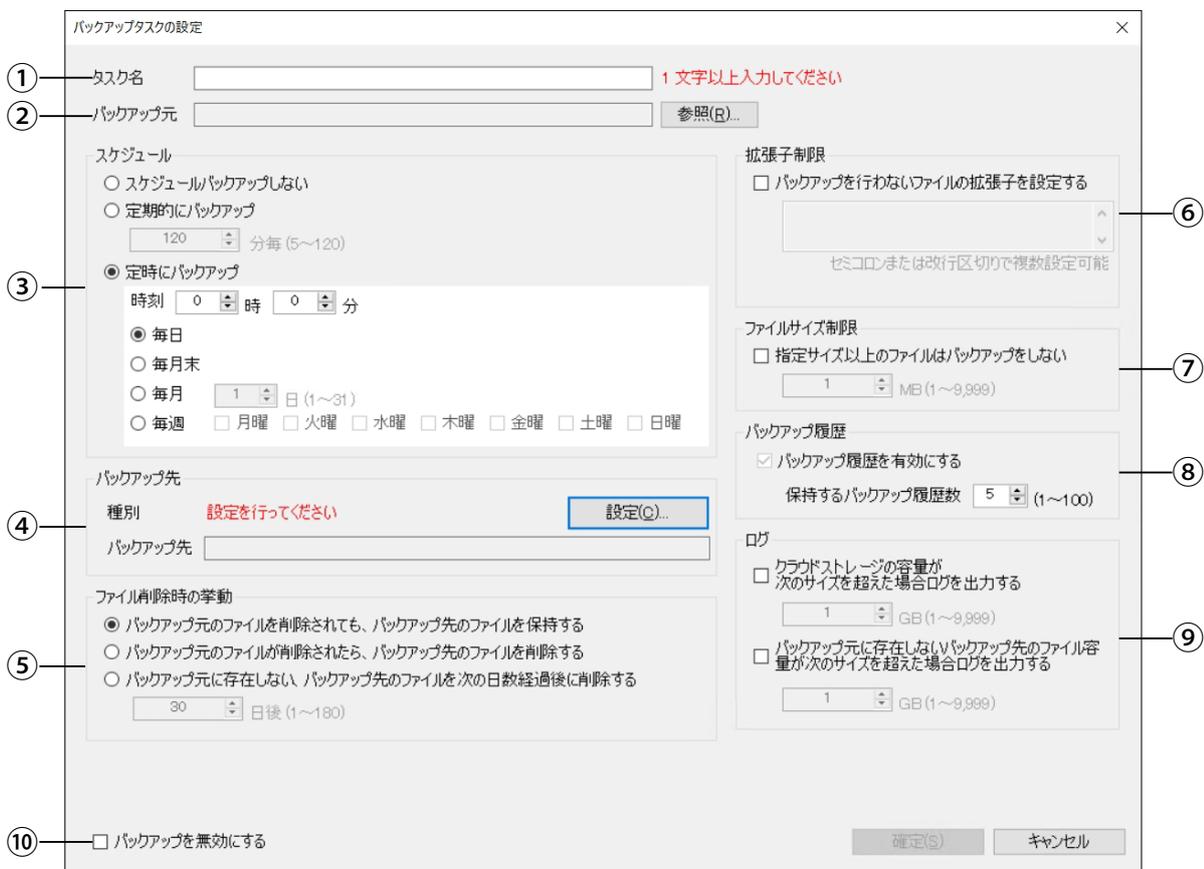
2.3

バックアップタスクを追加する

1 メイン画面の [追加] をクリックします。



2 [バックアップタスクの設定] 画面が表示されますので、各項目を設定します。



① タスク名	わかりやすい名前を1~32文字(半角または全角)で入力します。(入力必須)
② バックアップ元	[参照] をクリックして、バックアップするフォルダーを選択します。

<p>③ スケジュール</p>	<p>バックアップのスケジュールを設定します。</p>									
	<p>スケジュールバックアップしない</p>	<p>手動でバックアップする場合に選択します。</p>								
	<p>定期的にバックアップ</p>	<p>短い間隔でバックアップする場合に選択します。間隔は5～120分の範囲内で1分単位で設定できます。</p>								
	<p>定時にバックアップ</p>	<p>決められた日時にバックアップします。</p>								
<p>④ バックアップ先*</p> <p>* 入力時に必要なクラウドサービス情報は、クラウドサービス契約時に忘れずにメモしておいてください。</p>	<p>バックアップ先となるクラウドストレージ上またはローカルフォルダーの場所を設定します。 [設定]をクリックすると、設定画面が表示されますのでバックアップ種別を選択し、各情報を入力します。 ● 設定方法は各項目のページを参照してください。</p> <table border="1" data-bbox="512 629 1445 730"> <tr> <td>クラウドストレージにバックアップするとき</td> <td>14 ページ</td> </tr> <tr> <td>ローカルバックアップするとき</td> <td>19 ページ</td> </tr> </table> <p>● バックアップデータは、選択したバケットまたはコンテナ内に、バックアップするフォルダーと同名のフォルダー名で格納されます。</p> <table border="1" data-bbox="512 808 1445 999"> <tr> <td>アカウント名</td> <td>わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。ただし、以下の文字は使用できません。 (¥ / : * ? " < >) プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。</td> </tr> <tr> <td>削除</td> <td>選択したアカウントを削除します。</td> </tr> </table>		クラウドストレージにバックアップするとき	14 ページ	ローカルバックアップするとき	19 ページ	アカウント名	わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。ただし、以下の文字は使用できません。 (¥ / : * ? " < >) プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。	削除	選択したアカウントを削除します。
クラウドストレージにバックアップするとき	14 ページ									
ローカルバックアップするとき	19 ページ									
アカウント名	わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。ただし、以下の文字は使用できません。 (¥ / : * ? " < >) プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。									
削除	選択したアカウントを削除します。									
<p>⑤ ファイル削除時の挙動</p>	<p>バックアップ元のファイルが削除されたときのファイルの扱い方を設定します。</p> <table border="1" data-bbox="512 1099 1445 1469"> <tr> <td>バックアップ元のファイルを削除されても、バックアップ先のファイルを保持する</td> <td>バックアップ先のファイルを削除せずに残します。</td> </tr> <tr> <td>バックアップ元のファイルが削除されたら、バックアップ先のファイルを削除する</td> <td>バックアップ先のファイルも削除します。</td> </tr> <tr> <td>バックアップ元に存在しない、バックアップ先のファイルを次の日数経過後に削除する*</td> <td>ファイルの削除後、設定した日数が経過したら、バックアップ先のファイルも削除します。日数は1～180日の範囲で設定できます。</td> </tr> </table> <p>※ バックアップ元がローカルバックアップの場合は選択できません。</p>		バックアップ元のファイルを削除されても、バックアップ先のファイルを保持する	バックアップ先のファイルを削除せずに残します。	バックアップ元のファイルが削除されたら、バックアップ先のファイルを削除する	バックアップ先のファイルも削除します。	バックアップ元に存在しない、バックアップ先のファイルを次の日数経過後に削除する*	ファイルの削除後、設定した日数が経過したら、バックアップ先のファイルも削除します。日数は1～180日の範囲で設定できます。		
バックアップ元のファイルを削除されても、バックアップ先のファイルを保持する	バックアップ先のファイルを削除せずに残します。									
バックアップ元のファイルが削除されたら、バックアップ先のファイルを削除する	バックアップ先のファイルも削除します。									
バックアップ元に存在しない、バックアップ先のファイルを次の日数経過後に削除する*	ファイルの削除後、設定した日数が経過したら、バックアップ先のファイルも削除します。日数は1～180日の範囲で設定できます。									
<p>⑥ 拡張子制限</p>	<p>チェックすると、指定した拡張子のファイルがバックアップされなくなります。すでにバックアップされているファイルは削除されません。 指定は以下のように行います。 ● 「.」(ピリオド)は不要です。 ● 大文字、小文字は区別しません。 ● 対象はファイル名のみです。 ● 「;」(セミコロン)または改行を区切り文字にすることで複数設定することができます。</p> <p>(例)</p> <table border="1" data-bbox="619 1794 1214 1951"> <tr> <td>セミコロンの場合</td> <td>log;bak;DS_Store</td> </tr> <tr> <td>改行の場合</td> <td>log bak DS_Store</td> </tr> </table>		セミコロンの場合	log;bak;DS_Store	改行の場合	log bak DS_Store				
セミコロンの場合	log;bak;DS_Store									
改行の場合	log bak DS_Store									
<p>⑦ ファイルサイズ制限</p>	<p>チェックすると、設定したサイズ以上のファイルはバックアップされなくなります。 ※ ここで設定したサイズ以下のファイルであっても、バックアップ先で定められている上限サイズを超えるファイルはバックアップされません。 サイズは1～9999MBの範囲で設定できます。</p>									

⑧ バックアップ履歴	<p>バックアップ履歴の設定を行います。 「バックアップ先」の設定が以下の場合、履歴を残すことはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バックアップの種別が「Box」で「バックアップ方向」が「ダウンロード」に設定されている場合 ● バックアップの種別が「ローカルバックアップ」に設定されている場合 	
	バックアップ履歴を有効にする	<p>チェックすると、ファイルをバックアップするときに、以前のバージョンのファイルを指定世代分保持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Boxをアップロード先に指定している場合、「バックアップ履歴を有効にする」のチェックを外しても、NetStorBackupでは管理しませんが、Box自体の機能で履歴が残ります。
	保持するバックアップ履歴数	<p>以前のバージョンのファイルを何世代分保持するか設定します。 1～100の範囲で設定できます。 保持したファイルは後で復元することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「1」に設定すると、以前のバージョンは残しません。 ● 「バックアップ先」に「ローカルバックアップ」が指定されている場合は、履歴を残すことはできません。
⑨ ログ	<p>指定した条件になったときに、イベントログ (for Windowsの場合) またはシステムログ (for Linuxの場合) を出力することができます。</p>	
	クラウドサービスの使用容量が次のサイズを超えた場合ログを出力する	<p>チェックすると、バックアップ先のバケットまたはコンテナの容量が、設定したサイズを超えたときにログを出力します。 サイズは1～9999GBの範囲で設定できます。</p>
	ローカルに存在しないクラウド上のファイル容量が次のサイズを超えた場合ログを出力する	<p>バックアップ先フォルダーに、ローカルに存在しないファイルが増えてきたときにログを出力します。 サイズは1～9999GBの範囲で設定できます。</p>
⑩ バックアップを無効にする	<p>チェックすると、設定中のバックアップを実行しないようにします。 設定した内容は保存されます。</p>	

3 設定が終わったら、[確定]をクリックします。

バックアップタスクの設定

タスク名

バックアップ元 参照(R)...

スケジュール

スケジュール/バックアップしない

定期的にバックアップ

分毎 (5~120)

定時にバックアップ

時刻 時 分

毎日

毎月末

毎月 日 (1~31)

毎週 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 日曜

バックアップ先

種別

バックアップ先

ファイル削除時の挙動

バックアップ元のファイルを削除されても、バックアップ先のファイルを保持する

バックアップ元のファイルが削除されたら、バックアップ先のファイルを削除する

バックアップ元に存在しない、バックアップ先のファイルを次の日数経過後に削除する

日後 (1~180)

バックアップを無効にする

バックアップ履歴を有効にする

保持するバックアップ履歴数 (1~100)

拡張子制限

バックアップを行わないファイルの拡張子を設定する

セミコロンまたは改行区切りで複数設定可能

ファイルサイズ制限

指定サイズ以上のファイルはバックアップをしない

MB (1~9,999)

バックアップ履歴

クラウドストレージの容量が次のサイズを超えた場合ログを出力する

GB (1~9,999)

バックアップ元に存在しないバックアップ先のファイル容量が次のサイズを超えた場合ログを出力する

GB (1~9,999)

メイン画面に作成したタスクが追加され、指定した時間になると自動的にバックアップ処理がおこなわれます。

NetStor Backup for Windows

バックアップタスク一覧

タスク名	スケジュール	時刻	状態	バックアップ元
バックアップタスク	毎日	00:00	未実行	C:\Users\%UserName%\documents\%backu

MEMO

- 初回は全ファイルバックアップ、次回以降は差分バックアップが行われます。
- ローカルバックアップ時にバックアップ先の空き領域が足りなくなった場合は、エラーとなってバックアップが中断されます。

■ クラウドサービス別のバックアップ設定方法

Amazon S3 の場合

- ① [Amazon S3]を選択します。

アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

- ② [アクセスキーID]と[シークレットアクセスキー]を入力します。

- ③ 画面に[接続テストを行ってください]と表示されますので、[接続テスト]をクリックします。

接続が成功すると、[接続テスト済みです]と表示されます。

- [接続テスト]をクリックした後、[接続テストに失敗しました]と表示される場合は、ストレージ情報に誤りがないか確認してください(接続テストをするときはインターネットに接続されている必要があります)。

- ④ バックアップ先の[バケット名]を入力するか、プルダウンメニューから選択します。

ストレージ上に存在しないバケット名を入力した場合は、ストレージ上に新たに作成されます。



注意

AmazonS3 のバケットは以下の 2 通りの方法で作成できますが、2 の場合は注意が必要です。

1. NetStorBackup からバケットを作成したとき

自動的に先頭に「NSB」が付きますが、NetStorBackup に表示されるバケット名では「NSB」は表示されません。

2. AmazonS3 の管理画面からバケットを作成したとき

バケット名の先頭に「NSB」が付いていないと NetStorBackup に表示されません。

Microsoft Azure の場合

- 1 [Microsoft Azure]を選択します。

設定

アカウント名 削除

種類 Amazon S3 Microsoft Azure Box ローカルバックアップ

ストレージアカウント名

ストレージアクセスキー

接続テスト(T)

コンテナ名

アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

- 2 [ストレージアカウント名]と[ストレージアクセスキー]を入力します。

設定

アカウント名 削除

種類 Amazon S3 Microsoft Azure Box ローカルバックアップ

ストレージアカウント名

ストレージアクセスキー

接続テストを行ってください

コンテナ名

- 3 画面に[接続テストを行ってください]と表示されますので、[接続テスト]をクリックします。

接続が成功すると、[接続テスト済みです]と表示されます。

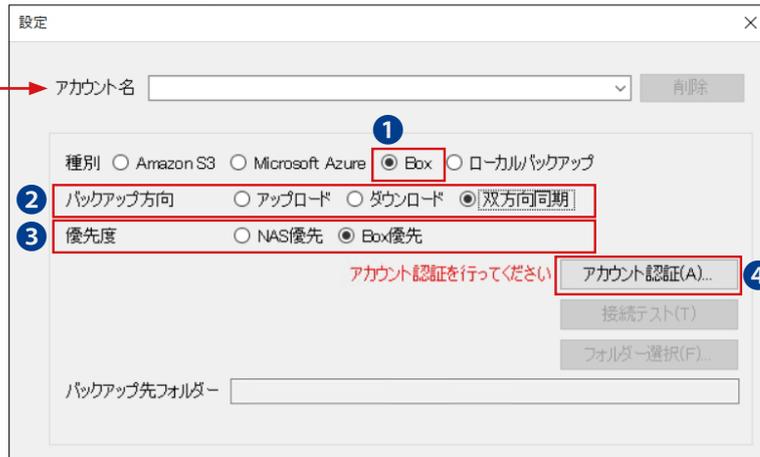
- [接続テスト]をクリックした後、[接続テストに失敗しました]と表示される場合は、ストレージ情報に誤りがないか確認してください(接続テストをするときはインターネットに接続されている必要があります)。

- 4 バックアップ先の[コンテナ名]を入力するか、プルダウンメニューから選択します。

ストレージ上に存在しないコンテナ名を入力した場合は、ストレージ上に新たに作成されます。

Box の場合

1 [Box]を選択します。



アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

2 [バックアップ方向]を選択します。

アップロード	NASからBoxに対して、ファイルのバックアップを行います。 アップロードタスクの場合、Boxのアカウント権限レベルが「ファイルの編集」が可能である必要があります。 アカウントが「共同所有者」または「編集者」のいずれかでタスクを設定してください。
ダウンロード	BoxからNASに対して、ファイルのバックアップを行います。 ダウンロードタスクの場合、Boxのアカウント権限レベルが「ダウンロード」が可能である必要があります。 アカウントが「共同所有者」または「編集者」「ビューアー/アップローダー」「ビューアー」のいずれかでタスクを設定してください。
双方向同期	「優先度」で設定した順番に従い、アップロードとダウンロードを行います。

3 [双方向同期]を選択した場合、[優先度]を選択します。

NAS優先	以下の順番でバックアップを行います。 ① NASからBoxにアップロード ② BoxからNASにダウンロード
Box優先	以下の順番でバックアップを行います。 ① BoxからNASにダウンロード ② NASからBoxにアップロード

- ④ **[アカウント認証]**をクリックすると、Boxの認証画面が表示されますので、認証情報を入力し、**[承認]**をクリックします。



MEMO Box と連携する場合、バックアップタスクによってはアカウントの権限レベルで実行できるタスクが異なります。設定するタスクに適応するアカウントで認証を行ってください。

Boxアカウント権限							
バックアップタスク	共同所有者	編集者	ビューアー /アップローダー	プレビューアー /アップローダー	ビューアー	プレビューアー	アップローダー
アップロード	○	○					
ダウンロード	○	○	○		○		

※ 2019/11 月現在の情報です。

認証に成功すると、リモートサーバのWebページが表示され、自動的に閉じられます。その後、**[接続テスト]** ボタンが有効になります。

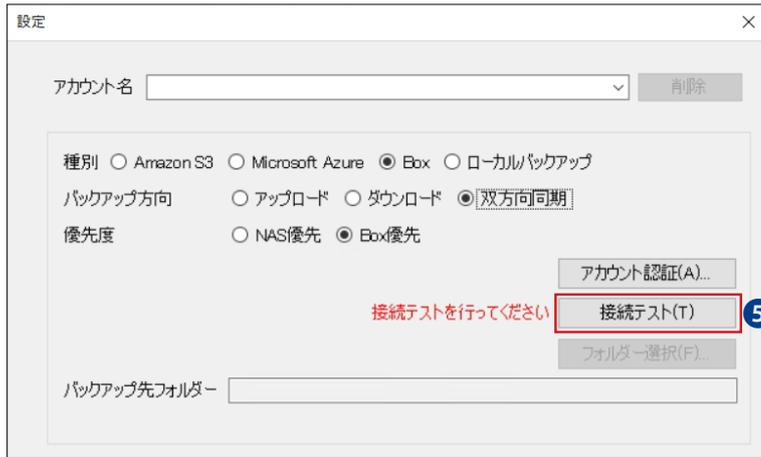


注意

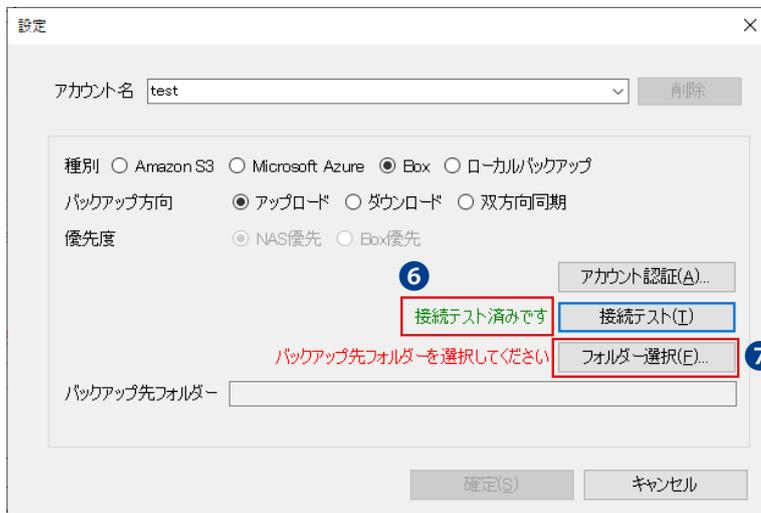
認証ページを開こうとすると、以下の警告メッセージが表示される場合がありますが、セキュリティ上の問題はありません。「追加」 ボタンを押して表示された画面でアカウント認証画面の URL を追加してください。



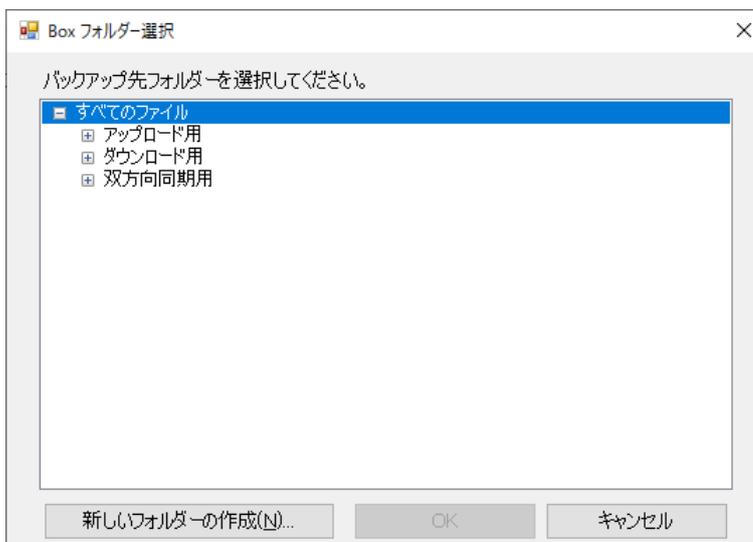
- ⑤ [接続テストを行ってください]と表示されますので、[接続テスト]をクリックします。



- ⑥ 接続が成功すると、[接続テスト済みです]と表示され、バックアップ先のフォルダー選択が可能になります。

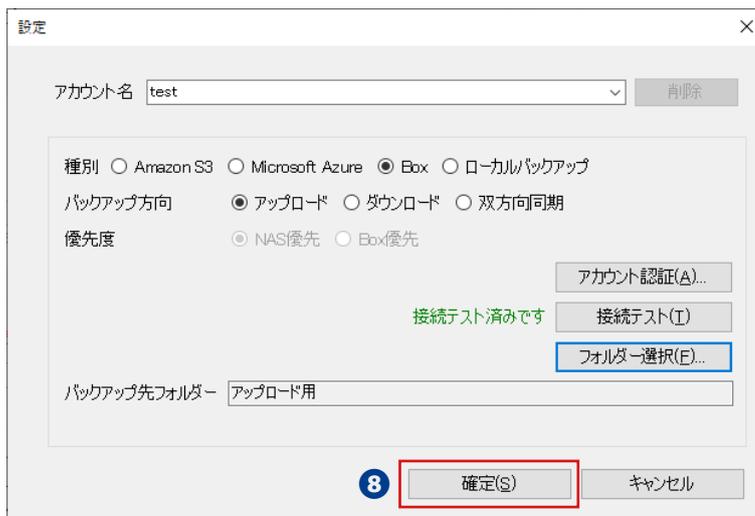


- ⑦ [フォルダー選択]をクリックすると「Boxフォルダー選択」というウィンドウが表示されますので、任意のフォルダーを選択し、[OK]をクリックします。



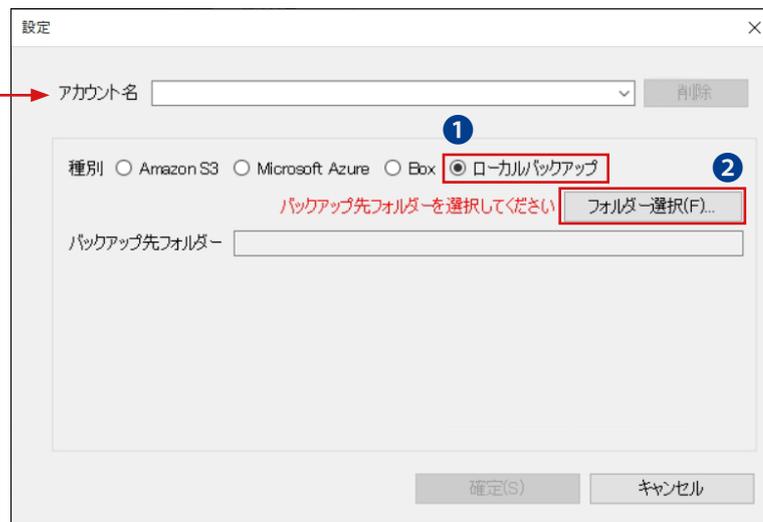
- ストレージ上に新しくフォルダーを作成したい場合は、[新しいフォルダーの作成]をクリックしてください。

- ⑧ [バックアップ先フォルダー]に選択したフォルダー名が表示されていることを確認し、[確定]をクリックします。



■ ローカルバックアップの設定方法

- ① [ローカルバックアップ]を選択します。



アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

- ② [フォルダー選択]をクリックし、ローカルにあるフォルダーを選択します。

- ネットワーク上にあるフォルダーは指定できません。
- FAT/FAT32のフォーマット形式はサポートしていません。

2.4

バックアップ設定の制限事項

【クラウドバックアップの制限事項】

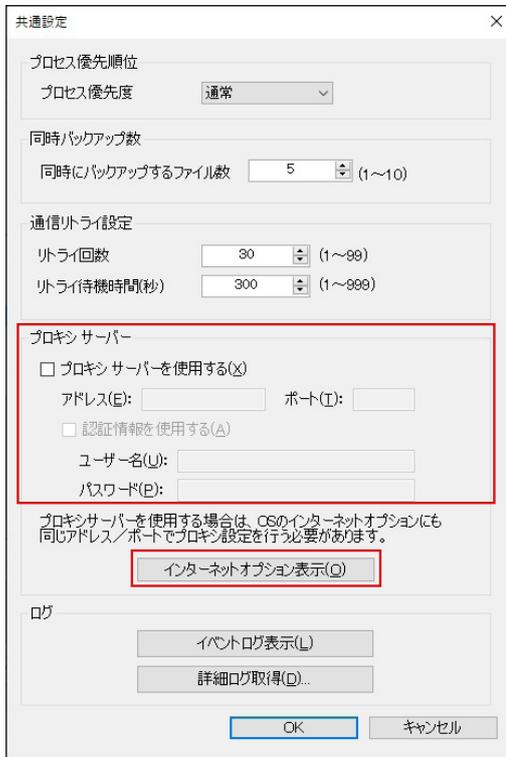
- Boxの無料アカウントを使用するときは、必ず「バックアップ履歴を有効にする」のチェックを外してください。
Boxの無料アカウントでは履歴機能が利用できません。
- Boxをアップロード先に指定している場合、「バックアップ履歴を有効にする」のチェックを外しても、NetStorBackupでは管理しませんが、Box自体の機能で履歴が残ります。
- Box側の制限により、一度のバックアップタスクで大量のファイルを移行すると、エラーが発生する場合があります。
一度のバックアップタスクで移行できるファイル数量の上限は、最大50,000ファイルを目安にしてください。
- プロキシサーバーを使用してクラウドストレージにアクセスする場合、本製品 (NAS) に搭載されたOS のインターネットオプションにも同じアドレスとポートを設定する必要があります。
以下の手順を参考に設定してください。

<プロキシサーバーのアドレス・ポート設定手順>

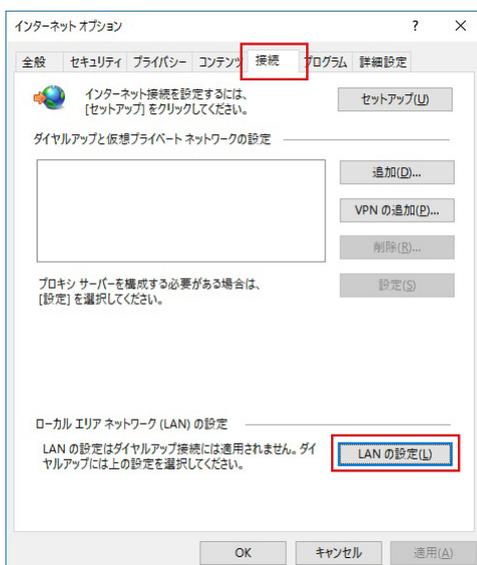
- 1 バックアップタスクのメイン画面の[設定]をクリックします。



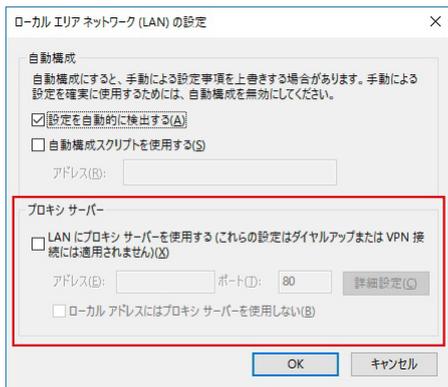
- ② 「**プロキシサーバーを使用する**」にチェックを入れ、アドレスとポートの情報を入力します。
認証情報を使用する場合は「**認証情報を使用する**」にチェックを入れ、ユーザー名/パスワードを入力します。
- ③ [**インターネットオプション表示**]をクリックします。



- ④ 「**インターネットオプション**」画面の[**接続**]をクリックし、[**LANの設定**]をクリックします。



5 「プロキシサーバー」の欄に②で入力したものと同一内容を入力します。



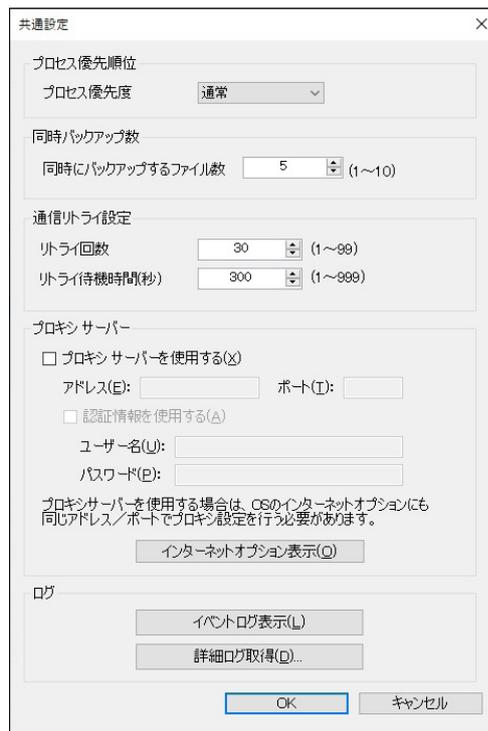
プロキシサーバーの設定を変更した場合は本製品 (NAS) の再起動が必要です。(ソフトウェアVer.2.0.0.2、Ver.2.0.1.0のみ)

2.5

メイン画面について



各タスク共通の設定を行います。



① 設定

MEMO

プロキシサーバーに例外設定が必要な場合は、プロキシサーバーへ以下の情報を設定してください。
 認証リダイレクト用：www.ele-manager.com
 ※ プロトコルは HTTPS、ポートは 443

プロセス優先順位

本ソフトのシステムリソース利用の優先度を以下から設定します。
 [高/通常以上/通常(初期値)/通常以下/低]
 ● 優先度を高くすると、バックアッププロセスに優先的に CPU などの資源が割り当てられるようになり、逆に低くすると他のプロセスよりも資源の割り当てが少なくなります。システム全体の負荷が高いような場合にもバックアップ処理が優先的に実行されるようにしたい場合などに高くなります。バックアッププロセスの負荷が高すぎて他の重要な処理に影響が出ているような場合には低くします。通常は変更の必要はありません。

同時バックアップ数	<p>クラウドストレージへ同時に並列で転送するファイル数を設定します。</p> <p>設定できる数は1～10個です。</p> <p>回線の状態などにもよりますが、バックアップ元に小容量ファイルがたくさんあるような場合、数を増やすことでバックアップが早く終わる可能性があります。</p> <p>逆にバックアップ元が大容量ファイル中心の場合、同時に転送する数が増えると帯域を分け合うことになるため、1つのファイルのバックアップに時間がかかることになります。</p> <p>例えば、1GBのファイルが10個あり、帯域をフルに使って平等に分け合い、10分で終了するという前提で比べた場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同時バックアップ数が「1」のとき →最初のファイルは1分でバックアップ完了 ・同時バックアップ数が「10」のとき →最初のファイルは完了まで10分かかるとなりますので、順番に確実にバックアップを終えたい場合は、同時バックアップ数を減らす設定をおすすめします。 	
通信リトライ設定 ※バックアップ先がクラウドの場合のみ有効	リトライ回数	通信エラーが起きたときにリトライする回数を設定します。 (初期値:5、範囲:1～99)
プロキシサーバー	リトライ待機時間(秒)	リトライする前に一時的にウェイトする時間を設定します。 (初期値:1、範囲:1～999)
ログ	イベントログ表示	Windowsのイベントログアプリケーションを起動します。
	詳細ログ取得	詳細ログをzip形式のファイルでダウンロードすることができます。

MEMO

プロキシサーバーを使用する場合は、本製品 (NAS) に搭載された OS のインターネットオプションにも同じアドレスとポートを設定する必要があります。(20 ページ参照)

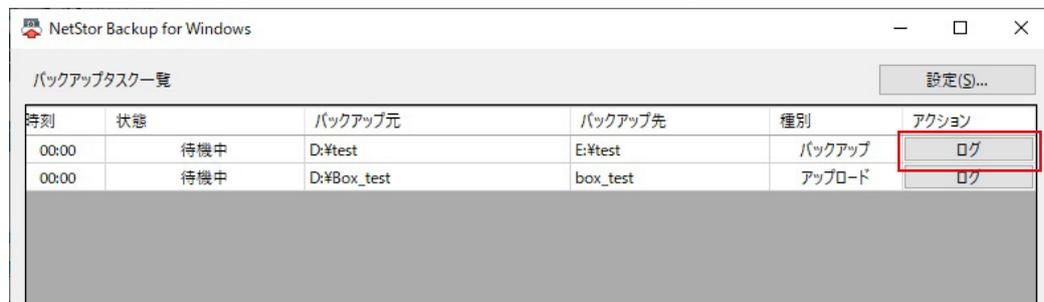
**注意**

プロキシサーバーの設定を変更した場合は本製品 (NAS) の再起動が必要です。(ソフトウェア Ver.2.0.0.2、Ver.2.0.1.0 のみ)

② タスク一覧

作成したバックアップタスクの一覧が表示されます。
表示エリア右端の[アクション]の[ログ]ボタンをクリックすると、バックアップタスクの結果ログが取得できます。
結果ログは直前に実施された1回分のバックアップ結果のみです。2回以前のログは取得できません。

ログファイル名は以下で作成されます。
例) :NetstorBackup_report_XX(バックアップタスクID).log



MEMO

ログ取得機能は本アプリの Ver.2.0.1.0 からの追加機能です。
ログの取得は Ver.2.0.1.0 以降で初めて実施したタスクの結果から取得可能です。

③ 追加

タスクを追加作成します。(10 ページ参照)

④ コピー

選択中のバックアップタスクの内容を元にして、新たなタスクを追加作成します。

⑤ 削除

選択中のタスクを削除します。

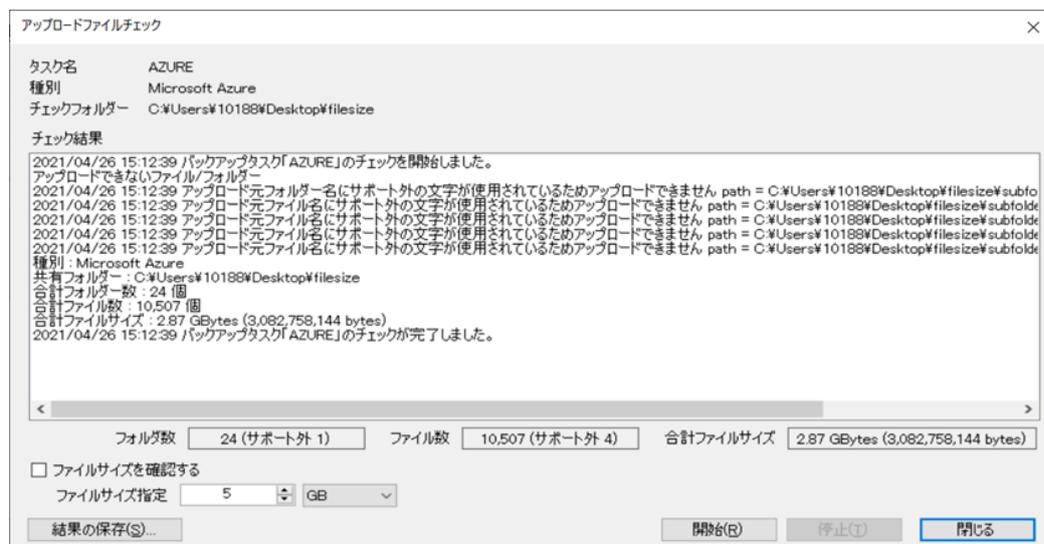
⑥ 編集

選択中のタスクを編集します。

⑦ アップロード
ファイルチェック

アップロードする前にファイル名・フォルダー名が問題ないかチェックします。
チェック結果表示画面で「結果の保存」ボタンをクリックすると、チェック結果をテキスト形式 (UTF-16) のファイルでダウンロードすることができます。

例) ファイルチェック後の画面



タスク名	バックアップタスク名を表示します。
種別	クラウド種別を表示します。
チェックフォルダー	「バックアップ元」に選択したフォルダーパスを表示します。
チェック結果	チェック結果を表示します。
フォルダ数	チェックしたフォルダーの総数を表示します。サポート外のフォルダーがあった場合は、カッコ内に「サポート外+数値」で表示します。

⑦ アップロード ファイルチェック	ファイル数	チェックしたファイルの総数を表示します。サポート外のフォルダーがあった場合は、カッコ内に「サポート外+数値」で表示します。
	合計ファイルサイズ	チェックしたファイルの合計サイズを表示します。
	ファイルサイズを確認する	チェックを有効にすることで「ファイルサイズ指定」で指定したサイズを超えるファイルをチェックします。 チェックがない場合はファイルサイズのチェックを行いません。(初期値:無効)
	ファイルサイズ指定	「ファイルサイズを確認する」にチェックを入れた場合にファイルサイズを指定します。単位は「GB」または「MB」で設定できます。 (入範囲:1~9999 / 初期値:5GB)
	結果の保存	チェック終了、またはチェックを中断した場合、チェック結果をテキスト形式(UTF-16)でダウンロードします。 ファイル名は「NetstorBackup_report_タスク番号.txt」で作成されます。
	開始	ファイルチェックを開始します。
	停止	ファイルチェックを停止します。 「停止」ボタンを押した時点までの結果は「チェック結果」画面上に表示され、「結果の保存」からファイルを取得できます。
	閉じる	アップロードファイルチェック画面を閉じます。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">MEMO</div> 以下の使用禁止文字を含むファイル/フォルダはバックアップの対象とはなりません。	
	半角記号	¥/:?*"<>
	その他	「.」もしくは「..」のみ、先頭もしくは末尾にスペース
	制御文字	<ul style="list-style-type: none"> ● ASCII0x00 ~ 0x1F ● 0x00 ~ 0x1F ● U+007F ~ U+00A0 ● U+00AD ● U+FFFD ~ U+FFFD ● U+FFFE、U+FFFF (non-characters from Unicode Plane 1) ● U+10000 ~ U+10FFFF (characters from Unicode Planes 2-16) など
⑧ 開始	選択中のタスクをすぐに実行します。	
⑨ 停止	選択中のタスクを停止します。タスクが実行中のときのみクリックすることができます。	

2.6

バージョンの確認方法

- 1 メイン画面左上のアイコンをクリックします。



- 2 表示されるメニューから [NetStor Backup for Windowsについて] をクリックします。
バージョン情報が表示されます。



※ ご利用の環境、インストール時期により、表示されるアイコンやバージョンは異なる場合がございます。

Chapter 3

バックアップ編

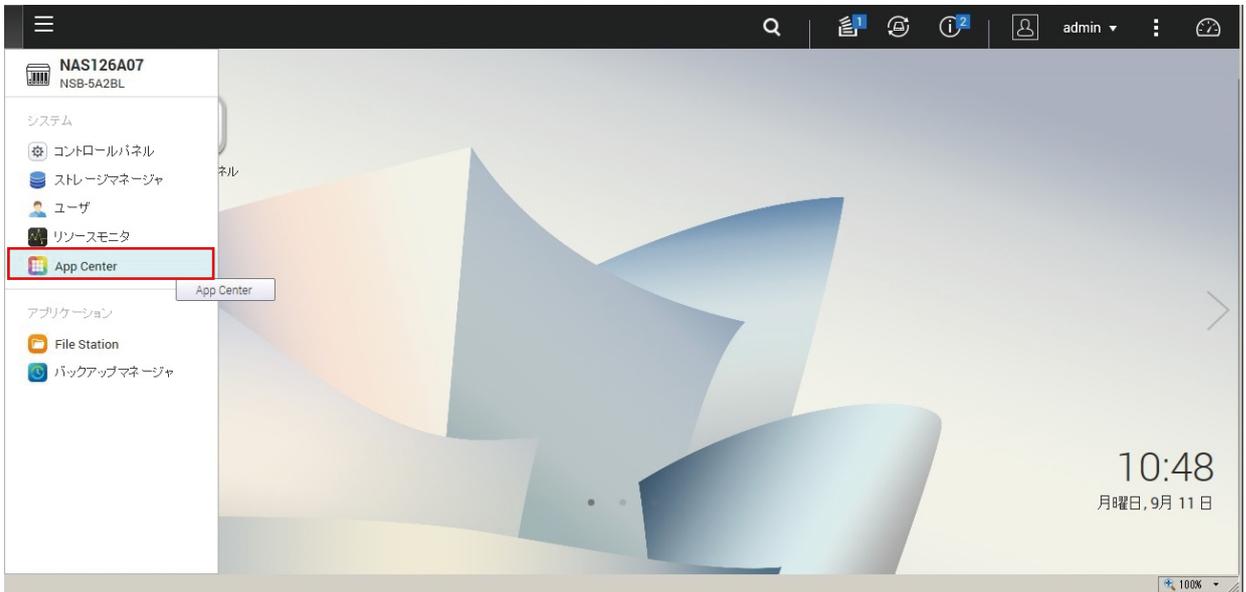
「NetStor Backup for Linux」

「NetStor Backup」を使うと、NAS上にあるフォルダーを簡単にクラウドストレージやローカルストレージなどにバックアップすることができます。

また、バックアップは、決められた日時に定期的に行うように設定できます。

3.1 インストール方法

- 1 NASの「管理画面」へログインし、「App Center」を開きます。



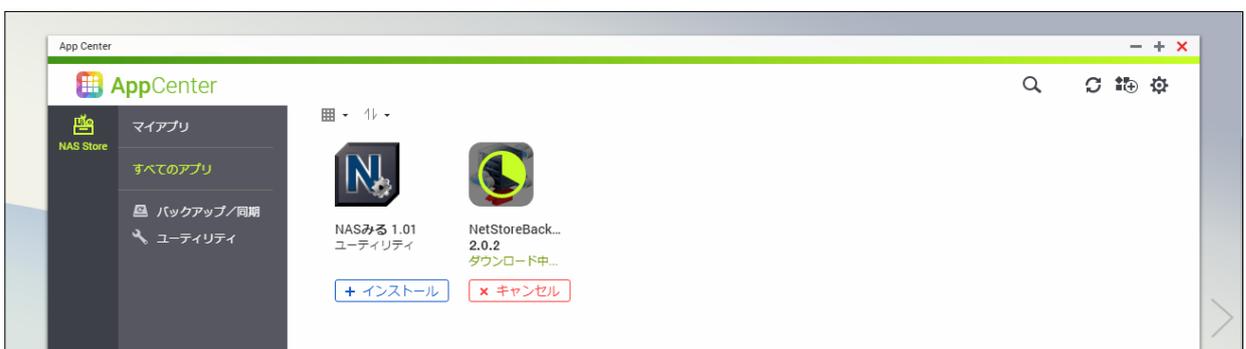
- 2 「App Center」画面で「すべてのアプリ」をクリック(①)することにより、インストール可能なアプリの一覧が表示されます。

ここで、「NetStorBackup」アイコン下の[+インストール]をクリック(②)します。

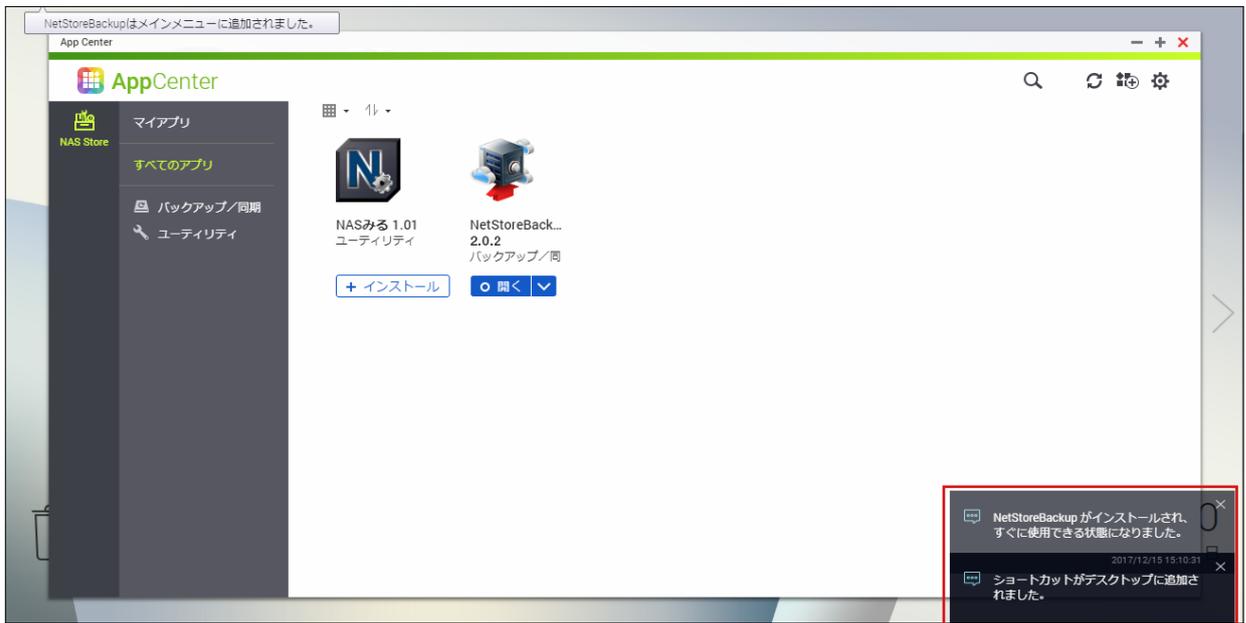


※ ご利用の環境、インストール時期により表示されるアイコンやバージョンは異なる場合がございます。

- 3 インストールが完了するまで、しばらくお待ちください。



インストールが完了すると、画面右下にメッセージが表示され、「マイアプリ」に「NetStorBackup」のアイコンが追加されます。



MEMO

【アプリケーションを手動でインストールする場合】

- ① 事前にインストールするアプリケーションファイルをクライアント PC に保存します。
- ② 「AppCenter」画面を開き右上の  アイコンをクリックします。
- ③ 「手動でインストール」画面が表示されたら「参照」ボタンをクリックし、インストールするファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「インストール」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「このソフトウェアパッケージをインストールしますか？」と表示されたら「OK」ボタンをクリックします。
- ⑥ インストールが開始されますので、完了するまでお待ちください。
- ⑦ インストールが完了後はメッセージに従い「手動でインストール」画面を閉じます。
- ⑧ 「AppCenter」画面に追加されたアプリケーションの「開く」ボタンをクリックしてアプリケーションを起動します。

3.2 起動方法

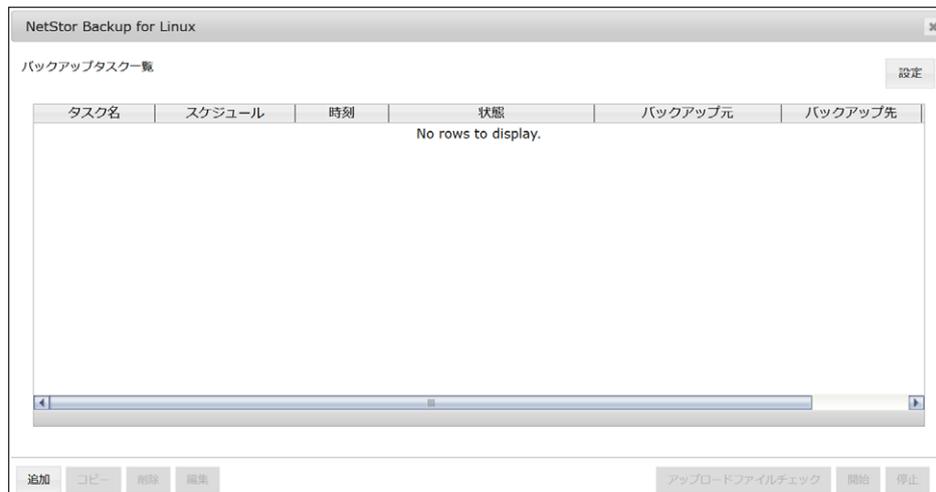
NASの「管理画面」へログインし、「App Center」の「マイアプリ」を開き、「NetStorBackup」アイコンの「開く」をクリックします。

管理画面のログイン方法はNAS本体のユーザーズマニュアル「管理画面へのアクセス手順」をご確認ください。



※ ご利用の環境、インストール時期により表示されるアイコンやバージョンは異なる場合がございます。

NetStor Backupが起動し、メイン画面が表示されます。



MEMO

Internet Explorer 11 をお使いの場合、セキュリティの設定によってはメイン画面が表示されない場合があります。以下の手順で本製品の IP アドレスを信頼済みサイトに追加してください。「インターネットオプション」-「セキュリティ」-「信頼済みサイト」の画面で「サイト」をクリックし、「この Web サイトをゾーンに追加する」に本製品の IP アドレスを入力して「追加」してください。

MEMO

クラウドストレージサービスにバックアップする場合は、事前にクラウドストレージサービスの契約（アカウント作成等）をお願いします。クラウドストレージサービスの通信料金、規約等につきましては、対象クラウドストレージサービスのホームページをご確認ください。

[対応クラウドサービス]

- Amazon S3 : <https://aws.amazon.com/jp/s3/>
- Microsoft Azure : <https://azure.microsoft.com/ja-jp/>
- Box : <https://www.box.com/ja-jp/home>

3.3

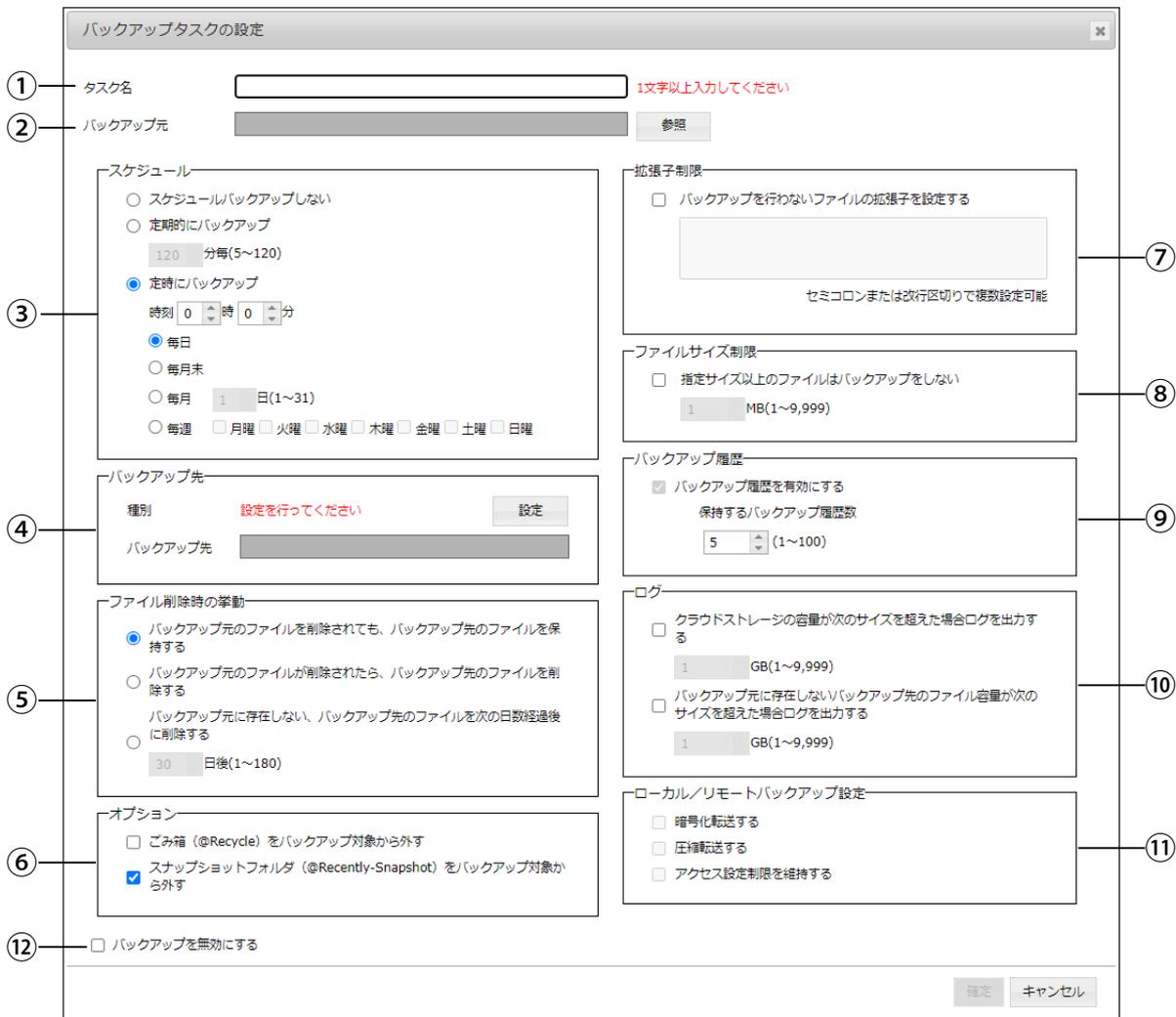
バックアップタスクを追加する

1 メイン画面の「追加」をクリックします。



バックアップタスクの設定の前に「3.4 バックアップ設定の制限事項」(46 ページ)をご確認ください。

2 「バックアップタスクの設定」画面が表示されますので、各項目を設定します。



① タスク名	わかりやすい名前を1~32文字(半角または全角)で入力します。(入力必須)													
② バックアップ元	<p>[参照]をクリックして、バックアップするフォルダーを選択します。</p> <p>● 管理画面の「共有フォルダー」で表示されるフォルダー、およびサブフォルダーをバックアップ元として選択可能です。ネットワークドライブに表示される「home」フォルダーをバックアップする場合は、46 ページを参照してください。</p>													
③ スケジュール	<p>バックアップのスケジュールを設定します。</p> <table border="1" data-bbox="512 416 1445 636"> <tr> <td data-bbox="512 416 826 501">スケジュールバックアップしない</td> <td data-bbox="826 416 1445 501">手動でバックアップする場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 501 826 586">定期的にバックアップ</td> <td data-bbox="826 501 1445 586">短い間隔でバックアップする場合に選択します。間隔は5~120分の範囲内で1分単位で設定できます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 586 826 636">定時にバックアップ</td> <td data-bbox="826 586 1445 636">決められた日時にバックアップします。</td> </tr> </table>		スケジュールバックアップしない	手動でバックアップする場合に選択します。	定期的にバックアップ	短い間隔でバックアップする場合に選択します。間隔は5~120分の範囲内で1分単位で設定できます。	定時にバックアップ	決められた日時にバックアップします。						
スケジュールバックアップしない	手動でバックアップする場合に選択します。													
定期的にバックアップ	短い間隔でバックアップする場合に選択します。間隔は5~120分の範囲内で1分単位で設定できます。													
定時にバックアップ	決められた日時にバックアップします。													
④ バックアップ先*	<p>バックアップ先となるクラウドストレージ上またはローカルフォルダー、リモート先の場所を設定します。</p> <p>[設定]をクリックすると、設定画面が表示されますのでバックアップ種別を選択し、各情報を入力します。</p> <p>● 設定方法は各項目のページを参照してください。</p> <table border="1" data-bbox="512 842 1445 1039"> <tr> <td data-bbox="512 842 1134 891">クラウドストレージにバックアップするとき</td> <td data-bbox="1134 842 1445 891">37 ページ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 891 1134 940">ローカルバックアップするとき</td> <td data-bbox="1134 891 1445 940">43 ページ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 940 1134 990">リモートバックアップするとき</td> <td data-bbox="1134 940 1445 990">44 ページ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 990 1134 1039">リモートレプリケーションするとき</td> <td data-bbox="1134 990 1445 1039">45 ページ</td> </tr> </table> <p>* 入力時に必要なクラウドサービス情報は、クラウドサービス契約時に忘れずにメモしておいてください。</p> <table border="1" data-bbox="512 1061 1445 1294"> <tr> <td data-bbox="512 1061 687 1249">アカウント名</td> <td data-bbox="687 1061 1445 1249"> <p>わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。ただし、以下の文字は使用できません。 (¥ / : * ? " < >)</p> <p>プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1249 687 1294">削除</td> <td data-bbox="687 1249 1445 1294">選択したアカウントを削除します。</td> </tr> </table>		クラウドストレージにバックアップするとき	37 ページ	ローカルバックアップするとき	43 ページ	リモートバックアップするとき	44 ページ	リモートレプリケーションするとき	45 ページ	アカウント名	<p>わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。ただし、以下の文字は使用できません。 (¥ / : * ? " < >)</p> <p>プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。</p>	削除	選択したアカウントを削除します。
クラウドストレージにバックアップするとき	37 ページ													
ローカルバックアップするとき	43 ページ													
リモートバックアップするとき	44 ページ													
リモートレプリケーションするとき	45 ページ													
アカウント名	<p>わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。ただし、以下の文字は使用できません。 (¥ / : * ? " < >)</p> <p>プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。</p>													
削除	選択したアカウントを削除します。													
⑤ ファイル削除時の挙動	<p>バックアップ元のファイルが削除されたときのファイルの扱い方を設定します。</p> <table border="1" data-bbox="512 1352 1445 1724"> <tr> <td data-bbox="512 1352 890 1482">バックアップ元のファイルが削除されても、バックアップ先のファイルを保持する</td> <td data-bbox="890 1352 1445 1482">バックアップ先のファイルを削除せずに残します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1482 890 1603">バックアップ元のファイルが削除されたら、バックアップ先のファイルを削除する</td> <td data-bbox="890 1482 1445 1603">バックアップ先のファイルも削除します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1603 890 1724">バックアップ元に存在しない、バックアップ先のファイルを次の日数経過後に削除する*</td> <td data-bbox="890 1603 1445 1724">ファイルの削除後、設定した日数が経過したら、バックアップ先のファイルも削除します。日数は1~180日の範囲で設定できます。</td> </tr> </table> <p>※バックアップ元がローカルバックアップの場合は選択できません。</p>		バックアップ元のファイルが削除されても、バックアップ先のファイルを保持する	バックアップ先のファイルを削除せずに残します。	バックアップ元のファイルが削除されたら、バックアップ先のファイルを削除する	バックアップ先のファイルも削除します。	バックアップ元に存在しない、バックアップ先のファイルを次の日数経過後に削除する*	ファイルの削除後、設定した日数が経過したら、バックアップ先のファイルも削除します。日数は1~180日の範囲で設定できます。						
バックアップ元のファイルが削除されても、バックアップ先のファイルを保持する	バックアップ先のファイルを削除せずに残します。													
バックアップ元のファイルが削除されたら、バックアップ先のファイルを削除する	バックアップ先のファイルも削除します。													
バックアップ元に存在しない、バックアップ先のファイルを次の日数経過後に削除する*	ファイルの削除後、設定した日数が経過したら、バックアップ先のファイルも削除します。日数は1~180日の範囲で設定できます。													

⑥ オプション	ごみ箱 (@Recycle) をバックアップ対象から外す	ごみ箱 (@Recycle) をバックアップ対象とするか、除外するかの設定をします。 チェックをすると、バックアップ元の共有フォルダ配下にあるフォルダ「@Recycle」をバックアップ対象から除外します。 (初期値:チェックなし)				
	スナップショットフォルダ (@Recently-Snapshot) をバックアップ対象から外す	スナップショットフォルダ (@Recently-Snapshot) をバックアップ対象とするか、除外するかの設定をします。 チェックをすると、バックアップ元の共有フォルダ配下にあるフォルダ「@Recently-Snapshot」をバックアップ対象から除外します。 (初期値:チェックあり)				
⑦ 拡張子制限	<p>チェックすると、指定した拡張子のファイルがバックアップされなくなります。すでにバックアップされているファイルは削除されません。</p> <p>指定は以下のように行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「.」(ピリオド)は不要です。 ● 大文字、小文字は区別しません。 ● 対象はファイル名のみです。 ● 「;」(セミコロン)または改行を区切り文字にすることで複数設定することができます。 <p>(例)</p> <table border="1"> <tr> <td>セミコロンの場合</td> <td>log;bak;DS_Store</td> </tr> <tr> <td>改行の場合</td> <td>log bak DS_Store</td> </tr> </table>		セミコロンの場合	log;bak;DS_Store	改行の場合	log bak DS_Store
セミコロンの場合	log;bak;DS_Store					
改行の場合	log bak DS_Store					
⑧ ファイルサイズ制限	<p>チェックすると、設定したサイズ以上のファイルはバックアップされなくなります。サイズは1~9999MBの範囲で設定できます。</p>					
⑨ バックアップ履歴	バックアップ履歴を有効にする	<p>チェックすると、ファイルをバックアップするときに、以前のバージョンのファイルを指定世代分保持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バックアップ履歴を有効にする場合、FAT32フォーマットの外部デバイスは使用できません。 ● NTFSフォーマットの外部デバイスへバックアップ履歴を有効にする場合、バックアップデータの容量が実際の容量より増加することがあります。外部デバイスへバックアップ履歴有効にするときは、EXT4またはEXT3にすることを推奨いたします。 ● Boxをアップロード先に指定している場合、「バックアップ履歴を有効にする」のチェックを外しても、NetStorBackupでは管理しませんが、Box自体の機能で履歴が残ります。 				
	保持するバックアップ履歴数	<p>以前のバージョンのファイルを何世代分保持するか設定します。</p> <p>1~100の範囲で設定できます。</p> <p>保持したファイルは後で復元することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「1」に設定すると、以前のバージョンは残しません。 				

⑩ ログ	指定した条件になったときに、システムログを出力することができます。	
	クラウドサービスの使用容量が次のサイズを超えた場合ログを出力する	チェックすると、バックアップ先のバケットまたはコンテナの容量が、設定したサイズを超えたときにログを出力します。 サイズは1~9999GBの範囲で設定できます。
	ローカルに存在しないクラウド上のファイル容量が次のサイズを超えた場合ログを出力する	バックアップ先フォルダーに、ローカルに存在しないファイルが増えてきたときにログを出力します。 サイズは1~9999GBの範囲で設定できます。
⑪ ローカル/リモートバックアップ設定	暗号化転送する	チェックすると、バックアップ元からバックアップ先へ転送中のデータが暗号化され、転送中のセキュリティが向上します。
	圧縮転送する	チェックすると、転送前のデータを圧縮し、バックアップデータ転送中のネットワークの負荷を軽減します。
	アクセス設定制限を維持する	チェックすると、バックアップ元のアクセス設定制限がバックアップ先でも維持されます。 <ご注意> バックアップ元とバックアップ先が同じドメインに参加している環境で使用することを推奨します。 AD環境でない場合、同じユーザー名は同じユーザーIDに設定されている必要があります。
⑫ [バックアップを無効にする]	チェックすると、設定中のバックアップを実行しないようにします。 設定した内容は保存されます。	

3 設定が終わったら、[確定]をクリックします。

バックアップタスクの設定

タスク名: バックアップタスク

バックアップ元: BackupData/ 参照

スケジュール

- スケジュールバックアップしない
- 定期的にバックアップ
 - 120 分毎(5~120)
- 定時にバックアップ
 - 時刻: 4 時 0 分
 - 毎日
 - 毎月末
 - 毎月 1 日(1~31)
 - 毎週 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜 日曜

バックアップ先

種別: Amazon S3 設定

バックアップ先: backup

ファイル削除時の挙動

- バックアップ元のファイルを削除されても、バックアップ先のファイルを保持する
- バックアップ元のファイルが削除されたら、バックアップ先のファイルを削除する
- バックアップ元に存在しない、バックアップ先のファイルを次の日経過後に削除する
 - 30 日後(1~180)

バックアップを無効にする

拡張子制限

バックアップを行わないファイルの拡張子を指定する

ファイルサイズ制限

指定サイズ以上のファイルはバックアップをしない

1 MB(1~9,999)

バックアップ履歴

バックアップ履歴を有効にする

保持するバックアップ履歴数: 5 (1~100)

ログ

クラウドストレージの容量が次のサイズを超えた場合ログを出力する

1 GB(1~9,999)

バックアップ元に存在しないバックアップ先のファイル容量が次のサイズを超えた場合ログを出力する

1 GB(1~9,999)

ローカル/リモートバックアップ設定

- 暗号化転送する
- 圧縮転送する
- アクセス設定制限を維持する

確定 キャンセル

メイン画面に作成したタスクが追加され、指定した時間になると自動的にバックアップ処理がおこなわれます。

NetStor Backup for Linux

バックアップタスク一覧 設定

タスク名	スケジュール	時刻	状態	バックアップ元	バックアップ先
バックアップタ...	毎日	04:00	未実行	BackupData/	backup

追加 コピー 削除 編集 開始 停止

MEMO

- 初回は全ファイルバックアップ、次回以降は差分バックアップが行われます。
- ローカルバックアップ時にバックアップ先の空き領域が足りなくなった場合は、エラーとなってバックアップが中断されます。

■ クラウドサービス別のバックアップ設定方法

Amazon S3 の場合

- ① [Amazon S3]を選択します。

アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

- ② [アクセスキーID]と[シークレットアクセスキー]を入力します。

- ③ 画面に[接続テストを行ってください]と表示されますので、[接続テスト]をクリックします。

接続が成功すると、[接続テスト済みです]と表示されます。

- [接続テスト]をクリックした後、[接続テストに失敗しました]と表示される場合は、ストレージ情報に誤りがないか確認してください(接続テストをするときはインターネットに接続されている必要があります)。

④ バックアップ先の[バケット名]を入力するか、プルダウンメニューから選択します。

ストレージ上に存在しないバケット名を入力した場合は、ストレージ上に新たに作成されます。



注意

AmazonS3 のバケットは以下の 2 通りの方法で作成できますが、2 の場合は注意が必要です。

1. NetStorBackup からバケットを作成したとき
自動的に先頭に「NSB」が付きますが、NetStorBackup に表示されるバケット名では「NSB」は表示されません。
2. AmazonS3 の管理画面からバケットを作成したとき
バケット名の先頭に「NSB」が付いていないと NetStorBackup に表示されません。

Microsoft Azure の場合

① [Microsoft Azure] を選択します。

アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます (100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

② [ストレージアカウント名]と[ストレージアクセスキー]を入力します。

- ③ 画面に[接続テストを行ってください]と表示されますので、[接続テスト]をクリックします。

接続が成功すると、[接続テスト済みです]と表示されます。

- [接続テスト]をクリックした後、[接続テストに失敗しました]と表示される場合は、ストレージ情報に誤りがないか確認してください(接続テストをするときはインターネットに接続されている必要があります)。

- ④ バックアップ先の[コンテナ名]を入力するか、プルダウンメニューから選択します。

ストレージ上に存在しないコンテナ名を入力した場合は、ストレージ上に新たに作成されます。

Box の場合

- ① [Box]を選択します。



アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

- ② [バックアップ方向]を選択します。

アップロード	NASからBoxに対して、ファイルのバックアップを行います。 アップロードタスクの場合、Boxのアカウント権限レベルが「ファイルの編集」が可能である必要があります。 アカウントが「共同所有者」または「編集者」のいずれかでタスクを設定してください。
ダウンロード	BoxからNASに対して、ファイルのバックアップを行います。 ダウンロードタスクの場合、Boxのアカウント権限レベルが「ダウンロード」が可能である必要があります。 アカウントが「共同所有者」または「編集者」「ビューアー/アップローダー」「ビューアー」のいずれかでタスクを設定してください。
双方向同期	「優先度」で設定した順番に従い、アップロードとダウンロードを行います。

③ **[双方向同期]**を選択した場合、**[優先度]**を選択します。

NAS優先	以下の順番でバックアップを行います。 ① NASからBoxにアップロード ② BoxからNASにダウンロード
クラウド優先	以下の順番でバックアップを行います。 ① クラウドからNASにダウンロード ② NASからクラウドにアップロード

④ **[アカウント認証]**をクリックすると、Boxの認証画面が表示されますので、認証情報を入力し、**[承認]**をクリックします。

MEMO

Box と連携する場合、バックアップタスクによってはアカウントの権限レベルで実行できるタスクが異なります。設定するタスクに適応するアカウントで認証を行ってください。

Boxアカウント権限							
バックアップタスク	共同所有者	編集者	ビューアー /アップローダー	プレビューアー /アップローダー	ビューアー	プレビューアー	アップローダー
アップロード	○	○					
ダウンロード	○	○	○		○		

※ 2019/7 月現在の情報です。

認証に成功すると、リモートサーバのWebページが表示され、自動的に閉じられません。その後、**[接続テスト]** ボタンが有効になります。



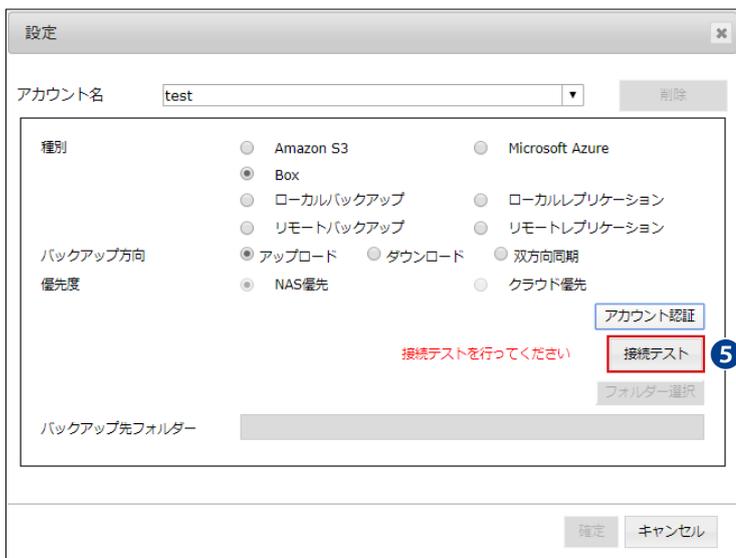
注意

Internet Explorer を利用している場合、「アカウント認証に失敗しました」と表示されることがあります。下記の手順で一時的にセキュリティレベルを変更して設定を行ってください。

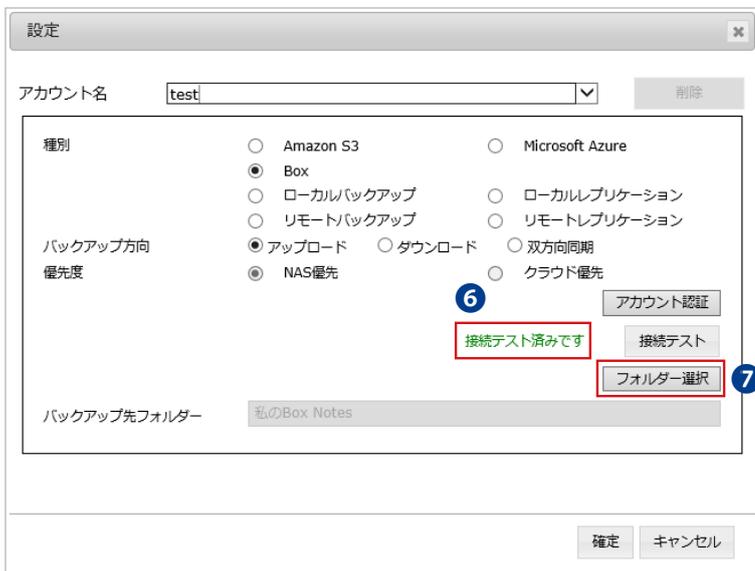
1. インターネットオプション→セキュリティ→インターネット→「保護モードを有効にする」のチェックを外す。
2. Internet Explorer を再起動する。
3. バックアップタスクを設定する。
4. 「保護モードを有効にする」にチェックを入れる。
5. Internet Explorer を終了する。

5 [接続テストを行ってください]と表示されますので、[接続テスト]をクリックします。

接続が成功すると、[接続テスト済みです]と表示されます。



- [接続テスト]をクリックした後、[接続テストに失敗しました]と表示される場合は、ストレージ情報に誤りがないか確認してください(接続テストをするときはインターネットに接続されている必要があります)。

6 接続が成功すると、[接続テスト済みです]と表示され、バックアップ先のフォルダー選択が可能になります。

- 7 [フォルダー選択]をクリックすると「フォルダーの参照」というウィンドウが表示されますので、任意のフォルダーを選択し、[OK]をクリックします。



- ストレージ上に新しくフォルダーを作成したい場合は、[新しいフォルダーの作成]をクリックしてください。

- 8 [バックアップ先フォルダー]に選択したフォルダー名が表示されていることを確認し、[確定]をクリックします。



MEMO

バックアップ先が Box の場合は、1 タスクでバックアップできるファイル数は 100,000 個程度が目安となります。

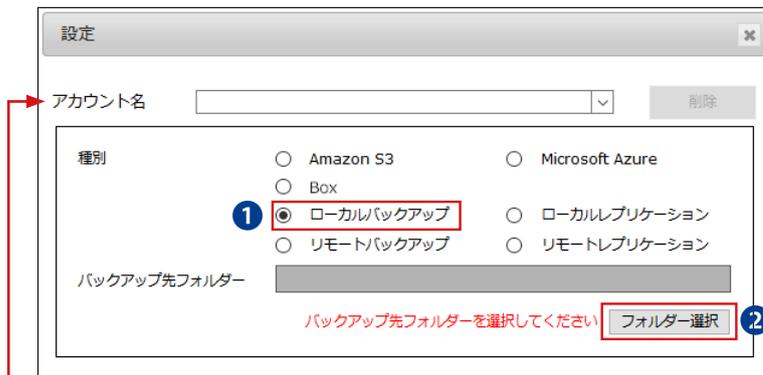
各バックアップタスクのファイル数の確認は、メイン画面の「アップロードファイルチェック (P50)」で確認することが可能です。

アップロードファイルチェックの結果表示でファイル数が 100,000 個を超えた場合は、バックアップタスクを分割していただくことを推奨いたします。

タスクの分割は「バックアップタスクの設定」でバックアップ元のフォルダーをサブフォルダー単位で指定してタスクを作成してください。

■ ローカルバックアップの設定方法

- 1 [ローカルバックアップ]を選択します。



アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

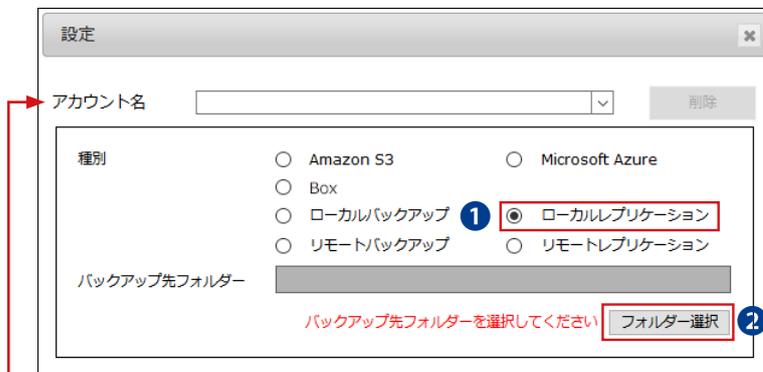
プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

- 2 [フォルダー選択]をクリックし、ローカルにあるフォルダーを選択します。

- ネットワーク上にあるフォルダーは指定できません。

■ ローカルレプリケーションの設定方法

- 1 [ローカルレプリケーション]を選択します。



アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

- 2 [フォルダー選択]をクリックし、ローカルにあるフォルダーを選択します。

- ネットワーク上にあるフォルダーは指定できません。

■ リモートバックアップの設定方法

① [リモートバックアップ]を選択します。

アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

② リモートバックアップ先のNSB-5A/7Aシリーズの情報を入力します。

リモートサーバー	最大 64 文字。半角英数字、および「. (ピリオド)」、「- (ハイフン)」のみ使用できます。
ポート番号	1 ~ 65,535 の半角数字で入力します。 (初期値：873)
パスワード	最大 32 文字。以下の文字は使用できません。 ` , / * + " % ' = \ [] < > ; : ?
リモートサーバーのadmin/パスワード	レプリケーション先のadminパスワードを入力します。最大64文字。 半角英数字、および「- _@!#\$%&'()*+,-./;<>=?[]^{}~.-」のみ使用可能です。

③ 画面に[接続テストを行ってください]と表示されますので、[接続テスト]をクリックします。

- [接続テスト]をクリックした後、[接続テストに失敗しました]と表示される場合は、相手機器側の情報に誤りがないか、また認証設定が有効になっているか確認してください。(接続テストをするときはインターネットに接続されている必要があります)。

④ [フォルダー選択]をクリックし、リモート先にあるフォルダーを選択します。

■ リモートレプリケーションの設定方法

① [リモートレプリケーション]を選択します。

設定

アカウント名 削除

種類

Amazon S3 Microsoft Azure

Box

ローカルバックアップ ローカルレプリケーション

リモートバックアップ リモートレプリケーション

リモートを選ぶ場合、相手機器側は事前に認証設定をしておく必要があります。接続テストが失敗する場合、相手機器側の認証設定が有効になっているかどうかをご確認ください。

リモートサーバー

ポート番号 (1~65,535)

パスワード

リモートサーバーのadminパスワード

接続テスト

バックアップ先フォルダー

フォルダー選択

アカウント名

わかりやすい名前をつけて設定を保存することができます(100文字以内)。

ただし、以下の文字は使用できません。

(¥ / : * ? " < > |)

プルダウンメニューからすでに作成したアカウントを選択することもできます。

② リモートレプリケーション先のNSB-5A/7Aシリーズのサーバー情報を入力します。

リモートサーバー	最大 64 文字。半角英数字、および「. (ピリオド)」、「- (ハイフン)」のみ使用できます。
ポート番号	1 ~ 65,535 の半角数字で入力します。 (初期値：8899)
パスワード	最大 32 文字。
リモートサーバーのadminパスワード	レプリケーション先のadminパスワードを入力します。最大64文字。 半角英数字、および「-_@!#\$%&()*+,-./;<>=?[]^{ }~.-」のみ使用可能です。

③ 画面に[接続テストを行ってください]と表示されますので、[接続テスト]をクリックします。

- [接続テスト]をクリックした後、[接続テストに失敗しました]と表示される場合は、相手機器側の情報に誤りがないか、また認証設定が有効になっているか確認してください。(接続テストをするときはインターネットに接続されている必要があります)。

④ [フォルダー選択]をクリックし、リモート先にあるフォルダーを選択します。

3.4

バックアップ設定の制限事項

【フォルダーについての制限事項】

- AmazonS3、Azureへのバックアップは、バックアップ元のフォルダーを含めてバックアップを行います。
Boxやローカル、リモートへのバックアップでは、バックアップ元フォルダーは含みません。
- 共有フォルダー名を含め、1024バイト以上のファイルはバックアップできません。文字数制限によりバックアップができなかった場合は、ファイル名やフォルダー名を短くするか対象となるデータを上の階層のフォルダーに保存してください。
- 管理画面の「共有フォルダー」で表示されるフォルダー、およびサブフォルダーをバックアップ元として選択可能です。

ネットワークドライブに表示される「home」フォルダー^{*1}(各アカウントの個別フォルダー)のデータをバックアップするにはバックアップ元に「homes」を選択することで、すべてのアカウント分の個別フォルダーをまとめてバックアップすることが可能です。特定ユーザーの「home」フォルダーを個別にバックアップする場合は、「homes」フォルダー^{*2}内のアカウント名フォルダーを選択してバックアップタスクを作成してください。

管理画面の共有フォルダー

コントロールパネル

← ControlPanel

共有フォルダー 高度な許可 フォルダー集約

作成 ▼ スナップショット共有フォルダーに移行 削除 デフォルトの共有フォルダーの復元

フォルダー名	サイズ	フォル...	ファイル	非...	ボリューム
<input type="checkbox"/> Public	8 KB	2	2	い...	DataVol1
<input type="checkbox"/> Web	8 KB	2	2	い...	DataVol1
<input type="checkbox"/> homes	12 KB	4	3	い...	DataVol1
<input type="checkbox"/> test	12 KB	2	3	い...	DataVol1

ネットワークドライブの画面

192.168.3.102

ファイル ホーム 共有 表示

ネットワーク > ネットワーク > 192.168.3.102 >

名前	種類	コメント
home		Home
homes		System default share
Public		System default share
test		
Web		System default share

Netstor Backupのバックアップ元参照画面

すべての「home」フォルダーを
バックアップする場合



特定ユーザーの「home」フォルダーを
バックアップする場合



※ 1 「home」フォルダー：各ユーザーが自分しかアクセスできないデータを保存するための個人用フォルダーです。そのため、Netstor Backup からバックアップ元として直接参照することができません。

※ 2 「homes」フォルダー：システム管理者だけがアクセスできるフォルダーです。すべてのユーザーの「home」フォルダーがまとめて格納されるフォルダーです。

【フォーマット別制限事項】

- アクセス制限設定やバックアップ履歴を有効にする場合は、EXT4にすることを推奨します。

【バックアップ先にUSB HDDを使用する時の制限事項】

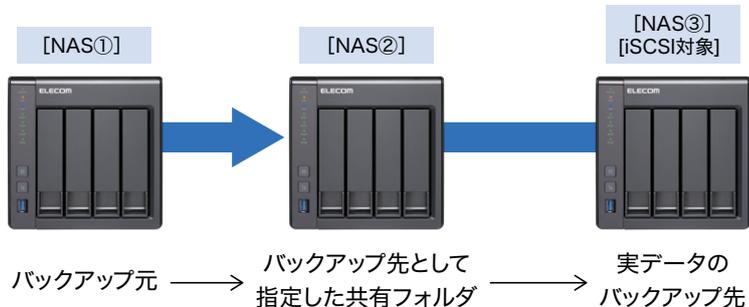
- FAT32形式の場合
 - ・取り外しを行うとファイルの所有者やグループが変更されます。
 - ・「アクセス制限設定を維持する」は使用できません。
 - ・「バックアップ履歴」は使用できません。
 - ・4GB以上のファイルは保存できません。
- NTFS形式の場合
 - ・取り外しを行うとファイルの所有者やグループが変更されます。
 - ・バックアップ履歴を有効にすると、バックアップデータの容量が実際の容量より増加することがあります。
- HFS+形式の場合
 - ・取り外しを行うとファイルの所有者やグループが変更されます。
 - ・「アクセス制限設定を維持する」は使用できません。
 - ・「バックアップ履歴」は使用できません。
- EXT3形式の場合
 - ・取り外しを行うとファイルの所有者やグループが変更されます。
 - ・「アクセス制限設定を維持する」は使用できません。

【バックアップ先がリモートの時の制限事項】

- 別筐体のiSCSIストレージをマウントした仮想ディスクをバックアップ先に設定した場合、リモートバックアップ/リモートレプリケーションでバックアップは行えません。ローカルバックアップ/ローカルレプリケーションではバックアップは可能です。

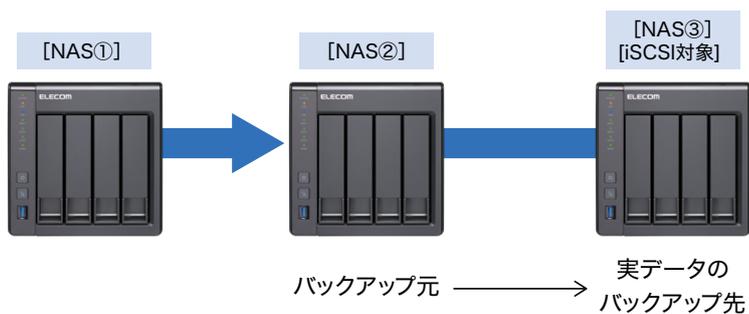
✖ バックアップ不可

- ・リモートバックアップ
- ・リモートレプリケーション



○ バックアップ可能

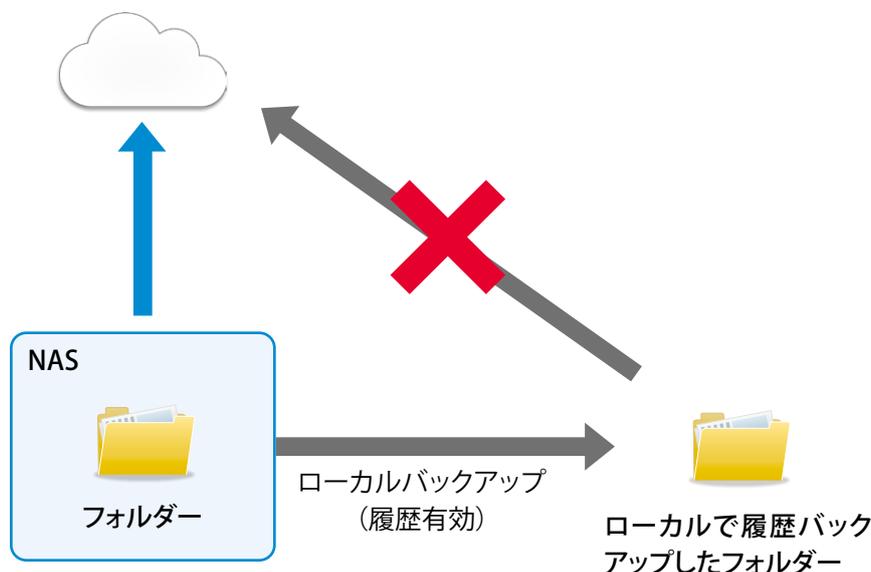
- ・ローカルバックアップ
- ・ローカルレプリケーション



【クラウドバックアップの制限事項】

- クラウド*をバックアップ先に指定する場合、「ローカルで履歴バックアップしたフォルダー」はクラウド*へのバックアップ対象外です。

※ Amazon S3 / Microsoft Azure / Box



【Boxをアップロード先に指定している場合】

- Boxの無料アカウントを使用するときは、必ず「バックアップ履歴を有効にする」のチェックを外してください。Boxの無料アカウントでは履歴機能が利用できません。
- 「バックアップ履歴を有効にする」のチェックを外しても、NetStorBackupでは管理しませんが、Box自体の機能で履歴が残ります。
- アップロードファイルチェック結果に問題がない場合でも、バックアップエラーやアップロードのスキップが発生する場合があります。1タスクの合計ファイル数が100,000個程度を目安にタスクを分割していただくことを推奨いたします。
タスクの分割は「バックアップタスクの設定」でバックアップ元のフォルダーをサブフォルダー単位で指定してタスクを作成してください。
- 1ファイルで1時間以上かかるアップロードを実行した場合、アップロードがスキップされる場合があります。その場合は、通信環境の改善やファイルサイズの軽減などをお試しください。

【プロキシサーバー経由でのバックアップについて】

- プロキシサーバーに例外設定が必要な場合は、プロキシサーバーへ以下の情報を設定してください。

認証リダイレクト用：www.ele-manager.com

※ プロトコルはHTTPS、ポートは443

3.5 メイン画面について

※「タスク名」「バックアップ元」「バックアップ先」の表示は例です。

The screenshot shows the 'NetStor Backup for Linux' main interface. At the top right is a '設定' (Settings) button labeled 1. The main area contains a table titled 'バックアップタスク一覧' (Backup Task List) with 9 rows. A bracket on the left side of the table is labeled 2. Below the table are control buttons: '追加' (Add) labeled 3, 'コピー' (Copy) labeled 4, '削除' (Delete) labeled 5, and '編集' (Edit) labeled 6. On the right side of the bottom bar are 'アップロードファイルチェック' (Upload File Check) labeled 7, '開始' (Start) labeled 8, and '停止' (Stop) labeled 9.

タスク名	スケジュール	時刻	状態	バックアップ元	バックアップ先	種別
Task Name 1	月火水木金土日	12:00	待機中	共有フォルダ①	保存先	バックアップ
Task Name 2	月水金	00:00	未実行	関東支店定期データ/data/2017	バックアップ①	バックアップ
Task Name 3	毎日	03:00	バックアップ中	東北支店定期データ	バックアップ②	バックアップ
Task Name 4	毎月31日	23:00	待機中	北海道支店定期データ	バックアップ③	バックアップ
Task Name 5	毎月月末	23:59	実行待ち	関西支店定期データ	バックアップ④	バックアップ
Task Name 6	毎日	22:00	待機中	共有フォルダ②	backup/2018/05	バックアップ
Task Name 7	毎日	22:10	待機中	共有フォルダ③	172.17.165.64:backup/2018	レプリケーション
Task Name 8	毎日	23:00	待機中	報告用書類2018	バックアップ 報告書類2018	バックアップ
Task Name 9			レプリケーション中	報告用書類2017	172.17.165.64:report/2017	レプリケーション

MEMO

バックアップの種別がレプリケーションの場合、スケジュールと時刻は空欄で表示されます。

各タスク共通の設定を行います。

MEMO

「通信リトライ設定」はバックアップ先がクラウド (Box / Amazon S3 / Microsoft Azure) の場合のみ有効となります。バックアップ先がローカルやリモートの場合は本機能は無効となります。

① 設定

プロセス優先順位

本ソフトのシステムリソース利用の優先度を以下から設定します。
[高/通常以上/通常(初期値)/通常以下/低]

- 優先度を高くすると、バックアッププロセスに優先的に CPU などの資源が割り当てられるようになり、逆に低くすると他のプロセスよりも資源の割り当てが少なくなります。システム全体の負荷が高いような場合にもバックアップ処理が優先的に実行されるようにしたい場合などに高くします。バックアッププロセスの負荷が高すぎて他の重要な処理に影響が出ているような場合には低くします。通常は変更の必要はありません。

同時バックアップ数

クラウドストレージへ同時に並列で転送するファイル数を設定します。

設定できる数は1~10個です。

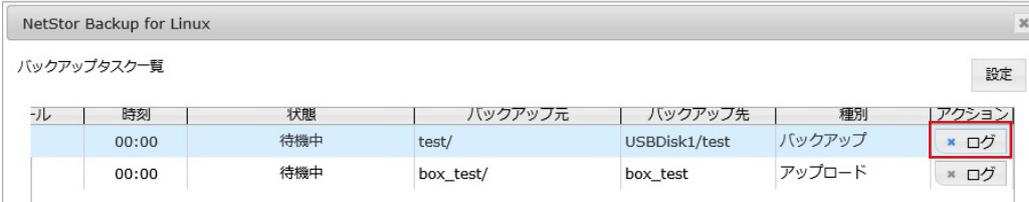
回線の状態などにもよりますが、バックアップ元に小容量ファイルがたくさんあるような場合、数を増やすことでバックアップが早く終わる可能性があります。

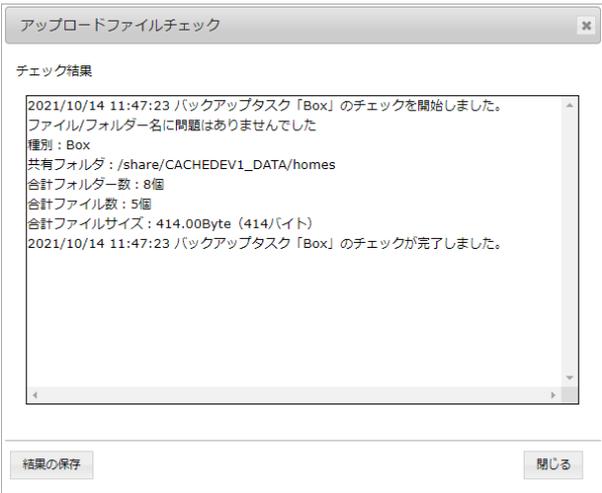
逆にバックアップ元が大容量ファイル中心の場合、同時に転送する数が増えると帯域を分け合うことになるため、1つのファイルのバックアップに時間がかかることになります。

例えば、1GBのファイルが10個あり、帯域をフルに使って平等に分け合い、10分で終了するという前提で比べた場合、

- ・同時バックアップ数が「1」のとき
→ 最初のファイルは1分でバックアップ完了
- ・同時バックアップ数が「10」のとき
→ 最初のファイルは完了まで10分かかります

となりますので、順番に確実にバックアップを終えたい場合は、同時バックアップ数を減らす設定をおすすめします。

	リモートバックアップの認証設定	本機に対するリモートバックアップを受け付ける	本製品をバックアップ先として設定する場合にチェックを入れます。																				
		ポート番号	1~65,535の半角数字で入力します。(初期値:873)																				
		ユーザー名	最大32文字。以下の文字は使用できません。 , / * + " % ' = \ [] < > ; : ?																				
		パスワード	最大32文字。																				
	リモートレプリケーションの認証設定	本機に対するリモートレプリケーションを受け付ける	本製品をバックアップ先として設定する場合にチェックを入れます。																				
		ポート番号	1~65,535の半角数字で入力します。(初期値:8899)																				
		パスワード	最大16文字。全角は使用できません。																				
	通信リトライ設定 ※バックアップ先がクラウドの場合のみ有効	リトライ回数	通信エラーが起きたときにリトライする回数を設定します。(初期値:5、範囲:1~99)																				
		リトライ待機時間(秒)	リトライする前に一時的にウェイトする時間を設定します。(初期値:1、範囲:1~999)																				
		接続タイムアウト(秒)	クラウドとの通信開始時に接続できなかった場合、エラーと判断するまでの時間を設定します。(初期値:15、範囲:1~999)																				
		通信タイムアウト(秒)	クラウドとの通信が途切れたときにエラーと判断するまでの時間を設定します。(初期値:900、範囲:10~999)																				
	詳細ログ	詳細ログをtgz形式のファイルでダウンロードすることができます。																					
② タスク一覧	<p>作成したバックアップタスクの一覧が表示されます。</p> <p>表示エリア右端の[アクション]の[ログ]ボタンをクリックすると、バックアップタスクの結果ログが取得できます。</p> <p>結果ログは直前に実施された1回分のバックアップ結果のみです。2回以前のログは取得できません。</p> <p>ログファイル名は以下で作成されます。</p> <p>例) :NetstorBackup_report_XX(バックアップタスクID).log</p>																						
	 <p>NetStor Backup for Linux</p> <p>バックアップタスク一覧 設定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>時刻</th> <th>状態</th> <th>バックアップ元</th> <th>バックアップ先</th> <th>種別</th> <th>アクション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>00:00</td> <td>待機中</td> <td>test/</td> <td>USBDisk1/test</td> <td>バックアップ</td> <td>★ ログ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>00:00</td> <td>待機中</td> <td>box_test/</td> <td>box_test</td> <td>アップロード</td> <td>★ ログ</td> </tr> </tbody> </table>			No.	時刻	状態	バックアップ元	バックアップ先	種別	アクション		00:00	待機中	test/	USBDisk1/test	バックアップ	★ ログ		00:00	待機中	box_test/	box_test	アップロード
No.	時刻	状態	バックアップ元	バックアップ先	種別	アクション																	
	00:00	待機中	test/	USBDisk1/test	バックアップ	★ ログ																	
	00:00	待機中	box_test/	box_test	アップロード	★ ログ																	
	MEMO	<p>ログ取得機能は本アプリの Ver.3.0.4 からの追加機能です。</p> <p>ログ取得は Ver.3.0.4 以降で初めて実施したタスクの結果から取得可能です。</p> <p>ログはバックアップ先が AmazonS3 / Azure / Box の場合のみ取得可能です。ローカル / リモートバックアップには対応していません。</p>																					

③ 追加	タスクを追加作成します。(32 ページ参照)					
④ コピー	選択中のバックアップタスクの内容を元にして、新たなタスクを追加作成します。					
⑤ 削除	選択中のタスクを削除します。					
⑥ 編集	選択中のタスクを編集します。					
⑦ アップロード ファイルチェック	<p>アップロードする前にファイル名・フォルダー名が問題ないかチェックします。 チェック結果表示画面で「結果の保存」ボタンをクリックすると、チェック結果をlog形式の ファイルでダウンロードすることができます。 例) : ファイルチェック後の画面</p> 					
	<p>チェック結果</p> <p>チェック結果を表示します。アップロードファイルチェックを中断する場合は「閉じる」ボタンを押します。</p> <p> 注意 アップロードファイルチェック結果に問題がない場合でも、バックアップエラーやアップロードのスキップが発生する場合があります。1タスクの合計ファイル数が100,000個程度を目安にタスクを分割していただくことを推奨いたします。タスクの分割は「バックアップタスクの設定」でバックアップ元のフォルダーをサブフォルダー単位で指定してタスクを作成してください。また、1ファイルで1時間以上かかるアップロードを実行した場合、アップロードがスキップされる場合があります。その場合は、通信環境の改善やファイルサイズの軽減などをお試しください。その他の制限事項は→P46「バックアップ設定の制限事項」をご確認ください。</p>					
	<p>結果の保存</p> <p>チェック終了後、チェック結果を log ファイルでダウンロードします。ファイル名は「NetstorBackup_report_タスク番号.log」で作成されます。</p>					
	<p>閉じる</p> <p>アップロードファイルチェック画面を閉じます。</p>					
	<p>MEMO 以下の使用禁止文字を含むファイル/フォルダはバックアップの対象とはなりません。</p> <table border="1"> <tr> <td>半角記号</td> <td>¥/:*?"<> (アップロード先が Box の場合は「¥/」のみ使用禁止文字です)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>「.」もしくは「..」のみ、先頭もしくは末尾にスペース</td> </tr> <tr> <td>制御文字</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● ASCII0x00 ~ 0x1F ● 0x00 ~ 0x1F ● U+007F ~ U+00A0 * ● U+00AD * ● U+FFFE、U+FFFF (non-characters from Unicode Plane 1) ● U+10000 ~ U+10FFFF (characters from Unicode Planes 2-16) など </td> </tr> </table> <p>※ アップロード先が Box の場合は使用可能です。</p>	半角記号	¥/:*?"<> (アップロード先が Box の場合は「¥/」のみ使用禁止文字です)	その他	「.」もしくは「..」のみ、先頭もしくは末尾にスペース	制御文字
半角記号	¥/:*?"<> (アップロード先が Box の場合は「¥/」のみ使用禁止文字です)					
その他	「.」もしくは「..」のみ、先頭もしくは末尾にスペース					
制御文字	<ul style="list-style-type: none"> ● ASCII0x00 ~ 0x1F ● 0x00 ~ 0x1F ● U+007F ~ U+00A0 * ● U+00AD * ● U+FFFE、U+FFFF (non-characters from Unicode Plane 1) ● U+10000 ~ U+10FFFF (characters from Unicode Planes 2-16) など 					
⑧ 開始	選択中のタスクをすぐ実行します。					
⑨ 停止	選択中のタスクを停止します。タスクが実行中のときのみクリックすることができます。					

3.6 バージョンの確認方法

App Centerで確認します。



※ ご利用の環境、インストール時期により表示されるアイコンやバージョンは異なる場合がございます。

Chapter 4

リストア編

「NetStor Restore for Windows」

「NetStor Restore for Windows」を使うと、クラウドストレージ上のファイルをブラウジングしたり、データをダウンロードすることができます。

4.1 動作環境

NetStor Restore for WindowsはクライアントPCなどにインストールして使用します。
対応OSは以下のとおりです。

- Windows 7 (32bit/64bit)
- Windows 8 (32bit/64bit)
- Windows 8.1 (32bit/64bit)
- Windows 10 (32bit/64bit)
- Windows Server 2012 R2
- Windows Storage Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Windows Storage Server 2016
- Windows Server 2019
- Windows Server IoT 2019 for Storage

(2021年1月現在)

MEMO

NetStor Restore for Windows は Windows NAS 内にもインストール可能です。
その場合はリモートデスクトップで操作します。

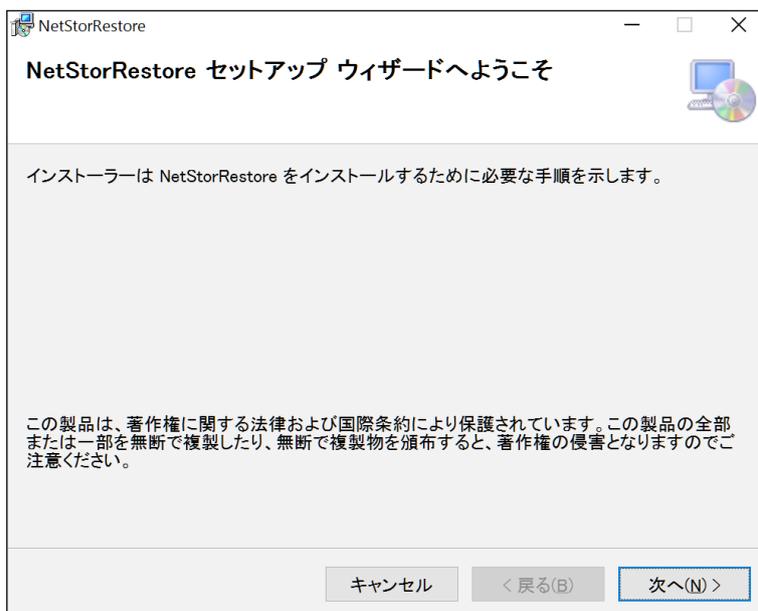
4.2

インストール方法

- 1 以下のURLからソフトをダウンロードします。

<https://www.elecom.co.jp/r/restore>

- 2 「InstallNetStorRestore_x.x.x.x.msi」(xにはバージョンを示す数字が入ります)をダブルクリックしてインストーラーを起動します。



- 3 セットアップウィザード画面が起動しますので、画面の案内に従って、インストール手順を進めます。

4.3 起動方法

● Windows10の場合

スタートメニューから [すべてのアプリ] → [Elecom] → [NetStor Restore for Windows] の順でクリックします。

● Windows8の場合

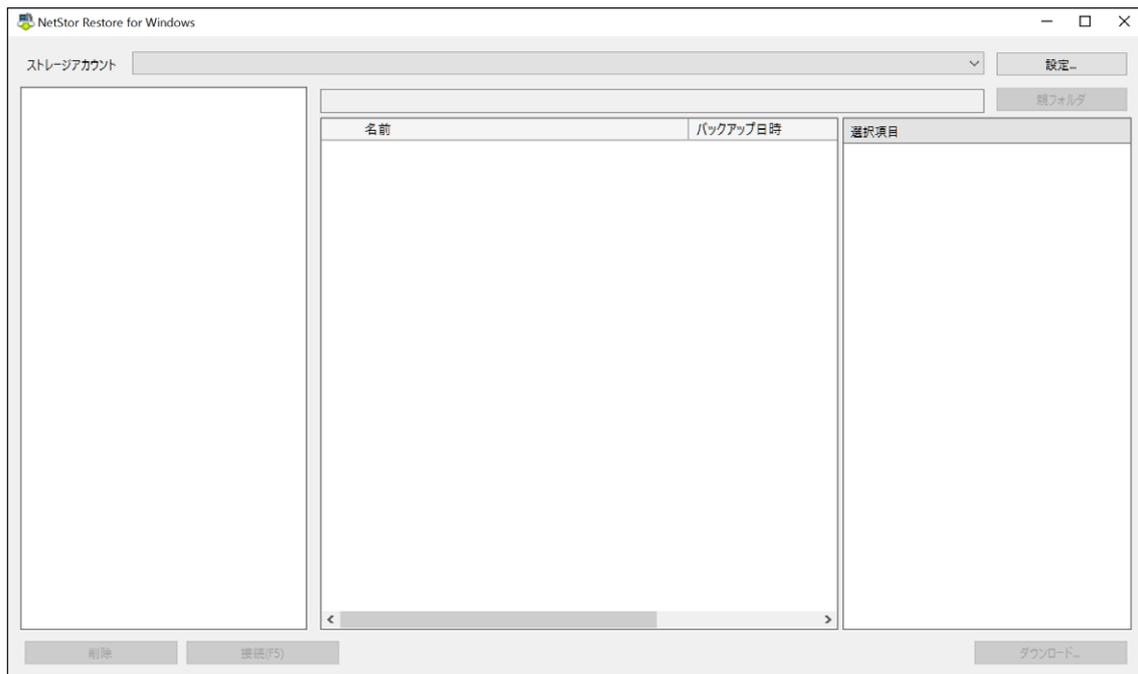
スタート画面のアプリ一覧画面から [NetStor Restore for Windows] をクリックします。

● Windows7の場合

スタートメニューから [すべてのプログラム] → [Elecom] → [NetStor Restore for Windows] の順でクリックします。



NetStor Restore for Windowsが起動し、メイン画面が表示されます。



MEMO

本ツールのご利用にあたり、事前にクラウドストレージサービスの契約（アカウント作成等）をお願いします。

クラウドストレージサービスの通信料金、規約等につきましては、対象クラウドストレージサービスのホームページをご確認ください。

[対応クラウドサービス]

- Amazon S3
<https://aws.amazon.com/jp/s3/>
- Microsoft Azure
<https://azure.microsoft.com/ja-jp/>

4.4

データをダウンロードする

- 1 メイン画面の [設定] をクリックします。



- 2 [ストレージアカウント設定] 画面が表示されますので、[追加] をクリックします。



3 クラウドストレージのアカウント情報を入力します。*

- ① アカウント名を入力します。
識別しやすい名称を付けてください。(最大100文字)
● 以下の文字は使用できません。
(¥ / : * ? " < > |)
- ② 種別を選択します。
- ③ Amazon S3またはMicrosoft Azureのアカウント情報を入力します。

※アカウント設定情報は、クラウドサービス契約時に忘れずにメモしておいてください。

4 アカウント情報を入力したら、[接続テスト]をクリックします。

入力した情報で接続が確認できると、[接続テスト済みです]と表示されます。

[接続テスト]をクリックした後、[接続テストに失敗しました。]と表示される場合は、入力内容に誤りがないかご確認ください(接続テストをするときはインターネットに接続している必要があります)。

5 [確定] をクリックします。

[確定] をクリックすると、[ストレージアカウント] のリストに設定したアカウントが表示されます。

アカウントを複数設定する場合は [追加] をクリックします。

6 [同時ダウンロード数]、および必要に応じて [プロキシサーバー] を設定します。

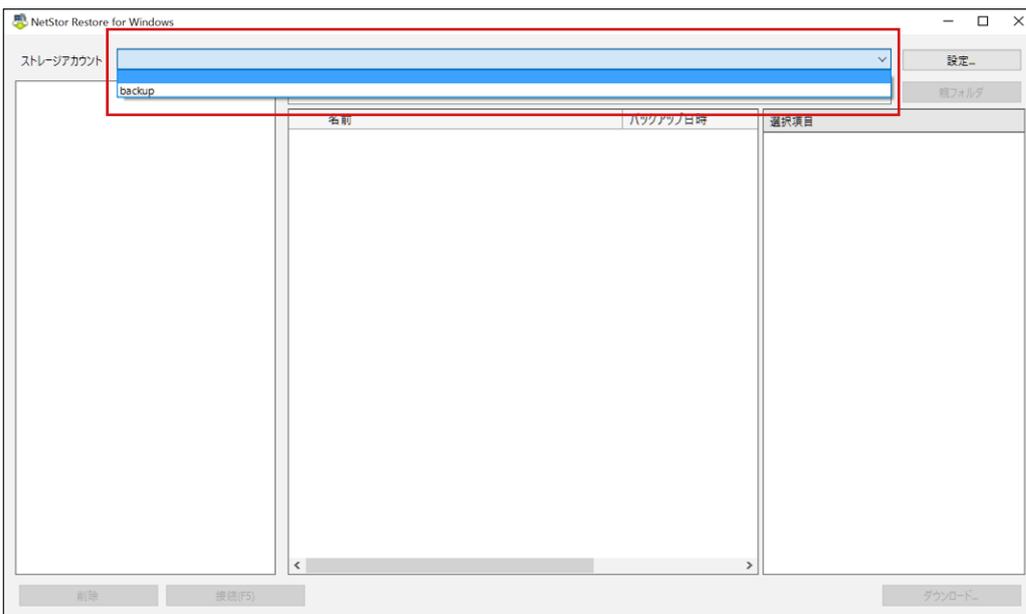
プロキシサーバー

プロキシサーバーを使用してクラウドストレージにアクセスする場合は「プロキシサーバーを使用する」にチェックを入れ、アドレスとポートの情報を入力します。認証情報を使用する場合は「認証情報を使用する」にチェックを入れ、ユーザー名/パスワードを入力します。

同時ダウンロード数	<p>Amazon S3を選択している場合のみ設定可能です。</p> <p>設定できる数は1～10個です。</p> <p>回線の状態などにもよりますが、ストレージ上に小容量ファイルがたくさんあるような場合、数を増やすことでダウンロードが早く終わる可能性があります。</p> <p>逆にストレージ上にあるファイルが大容量ファイル中心の場合、同時にダウンロードする数が増えると帯域を分け合うことになるため、1つのファイルのダウンロードに時間がかかることになります。</p> <p>例えば、1GBのファイルが10個あり、帯域をフルに使って平等に分け合い、10分で終了するという前提で比べた場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同時ダウンロード数が「1」のとき → 最初のファイルは1分でダウンロード完了 ・同時ダウンロード数が「10」のとき → 最初のファイルは完了まで10分かかる <p>となりますので、順番に確実にダウンロードを終えたい場合は、同時ダウンロード数を減らす設定をおすすめします。</p>
-----------	---

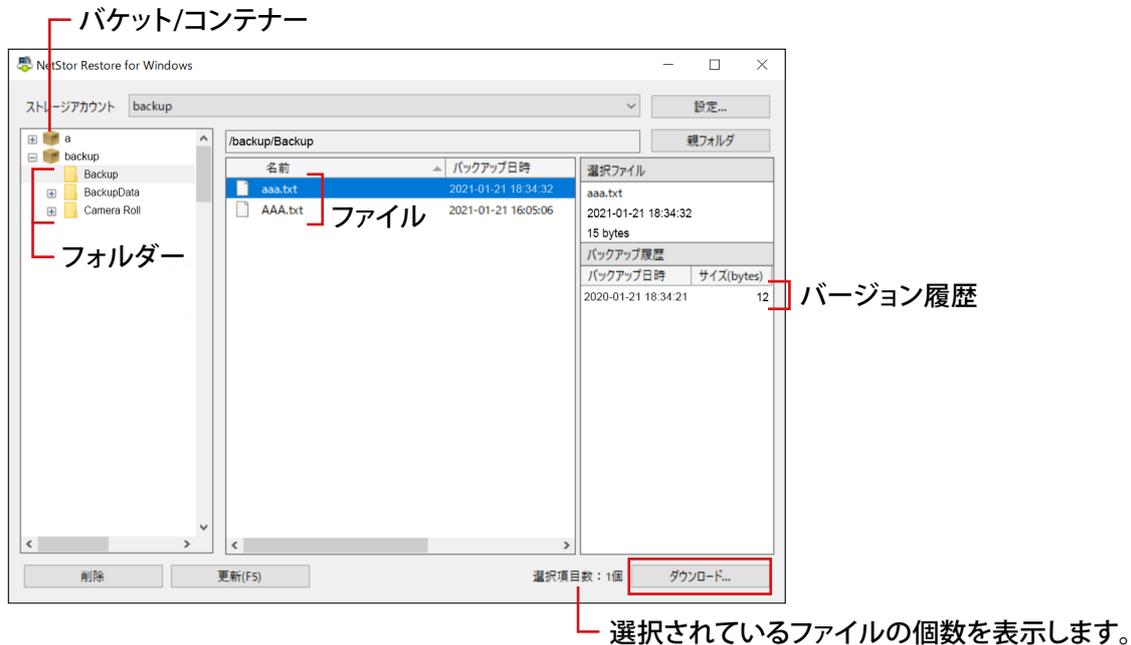
7 [閉じる] をクリックして、メイン画面に戻ります。

8 ストレージアカウントのプルダウンメニューをクリックし、作成したアカウントを選択します。



9 クラウドストレージ上のデータが表示されますので、フォルダーまたはファイルを選択して、[ダウンロード]をクリックします。

前のバージョンのファイルをダウンロードしたいときは、[バージョン履歴]のリストから選択して、[ダウンロード]をクリックします。



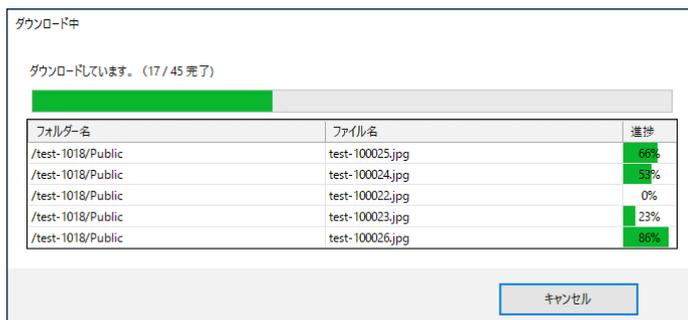
10 ファイルの保存先を選択し、[OK]をクリックします。

ダウンロードが始まります。

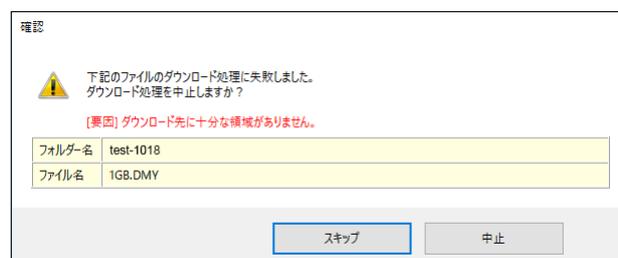


アクセス権限のないフォルダーにはファイルをダウンロードできません。
ファイルの保存先はアクセス可能なフォルダーを指定してください。

● Amazon S3の場合



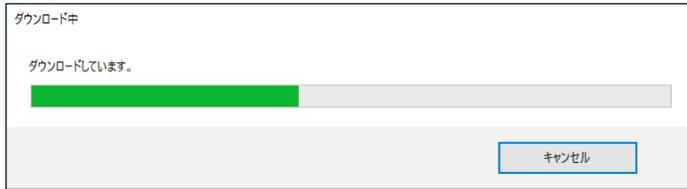
Amazon S3 からダウンロード中にエラーが発生した場合は以下のような画面が表示されます。



[スキップ] をクリックした場合 : 当該ファイルのダウンロードは行わず、他のファイルのダウンロードを継続します。

[中止] をクリックした場合 : 当該ファイルを含め、以降のダウンロード処理を中止します。

● Microsoft Azureの場合



MEMO

Microsoft Azure からダウンロード中にエラーが発生した場合は、以下のような画面が表示されます。

「ログの表示」をクリックすると、メモ帳 (notepad.exe) が起動し、エラー内容を確認できます。また、システムメニューからもエラー時のログを確認することが可能です。



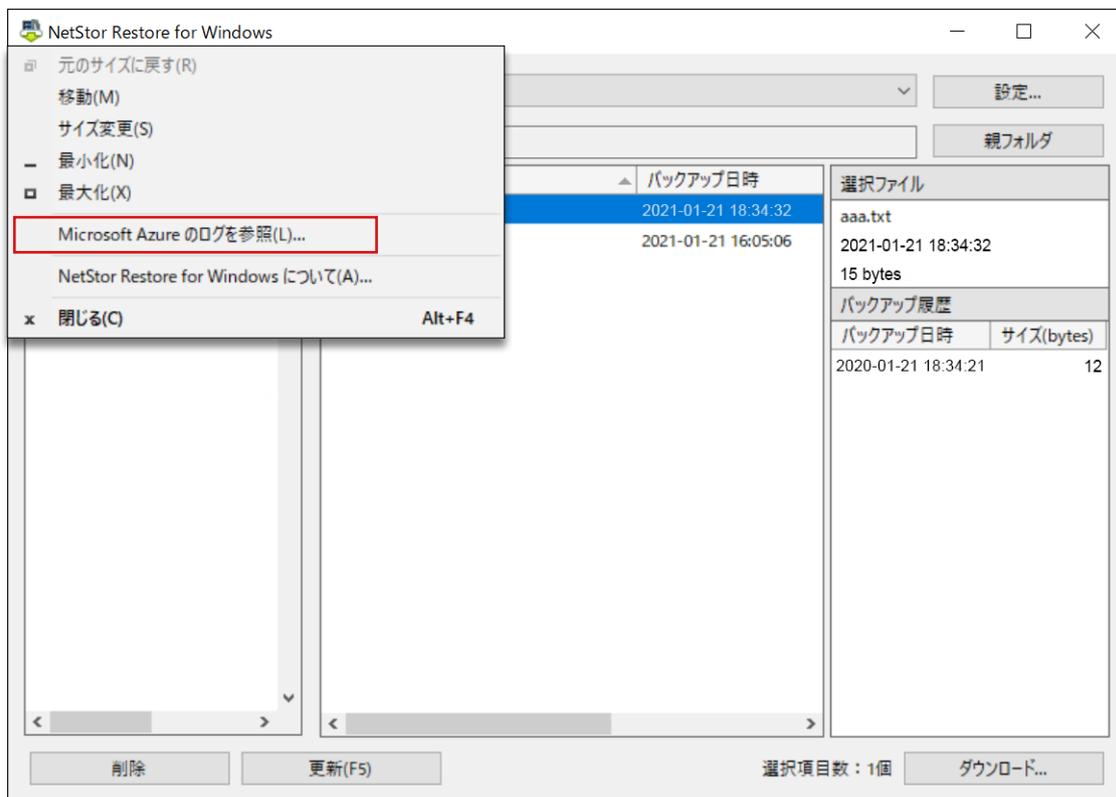
■ システムメニューからログを確認する場合

メイン画面左上のアイコンを右クリックし、メニューの [Microsoft Azureのログを参照(L)…] をクリックすると、

ログファイルを保存しているフォルダーが表示されます。

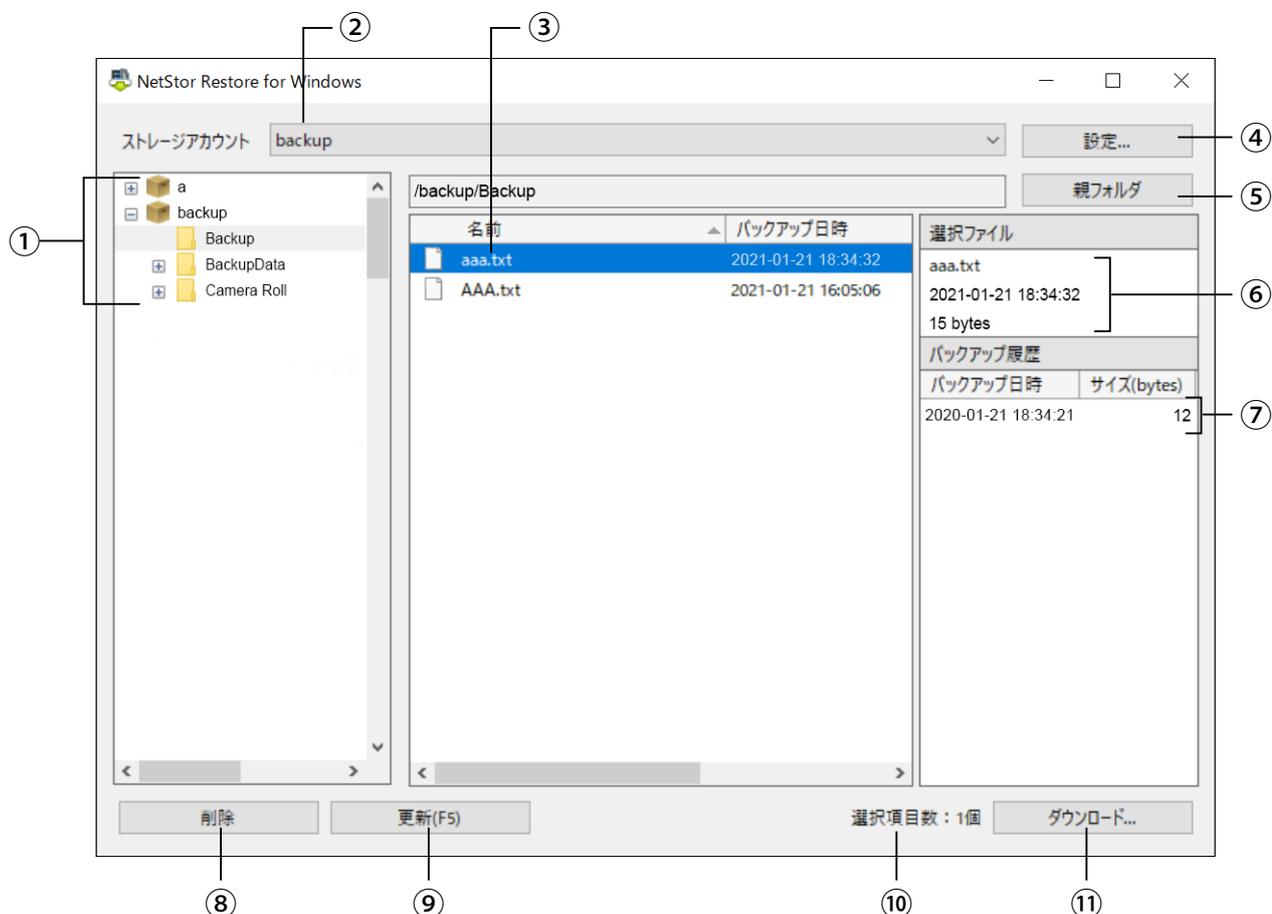
ログの保存先は以下のフォルダーです。

C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\NetStorRestore\.azcopy



4.5

メイン画面について



① バケット / コンテナ一覧	Amazon S3 アカウントを選択している場合はバケット名、Microsoft Azure アカウントを選択している場合は、コンテナ名が表示されます。クリックすると、格納されているフォルダが表示されます。
② [ストレージアカウント]	アカウント名が表示されます。クリックすると、プルダウンメニューからストレージアカウントを切り替えることができます。
③ ファイル一覧	選択しているフォルダ内のファイル一覧を表示します。
④ [設定]	ストレージアカウントを設定します。
⑤ [親フォルダ]	1 つ上のフォルダのファイルを表示します。
⑥ [選択ファイル]	選択しているファイルの詳細情報が表示されます。
⑦ [バックアップ履歴]	選択しているファイルのバージョン履歴が表示されます。クリックすると、選択できます。
⑧ [削除]	選択しているファイルやフォルダを削除します。
⑨ [更新]	最新の情報に更新します。
⑩ [選択項目数]	選択したファイルの個数を表示します。
⑪ [ダウンロード]	<p>選択しているファイルやフォルダをダウンロードします。クリックすると、ダイアログボックスが表示されるので、保存先を指定します。</p> <p>注意  アクセス権限のないフォルダにはファイルをダウンロードできません。ファイルの保存先はアクセス可能なフォルダを指定してください。</p>

4.6 アンインストール方法

1 [プログラムのアンインストール] 画面を開きます。

(Windows10 の場合)

 を右クリックして、[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]を選択します。

(Windows8 の場合)

画面右下にマウスカーソルを移動→チャームから[設定]→[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]を選択します。

(Windows7 の場合)

[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]を選択します。

2 プログラム一覧から [NetStorRestore] を選択して、[アンインストール] をクリックします。



3 確認画面が表示されますので、[はい] をクリックします。

アンインストールが開始されます。

MEMO

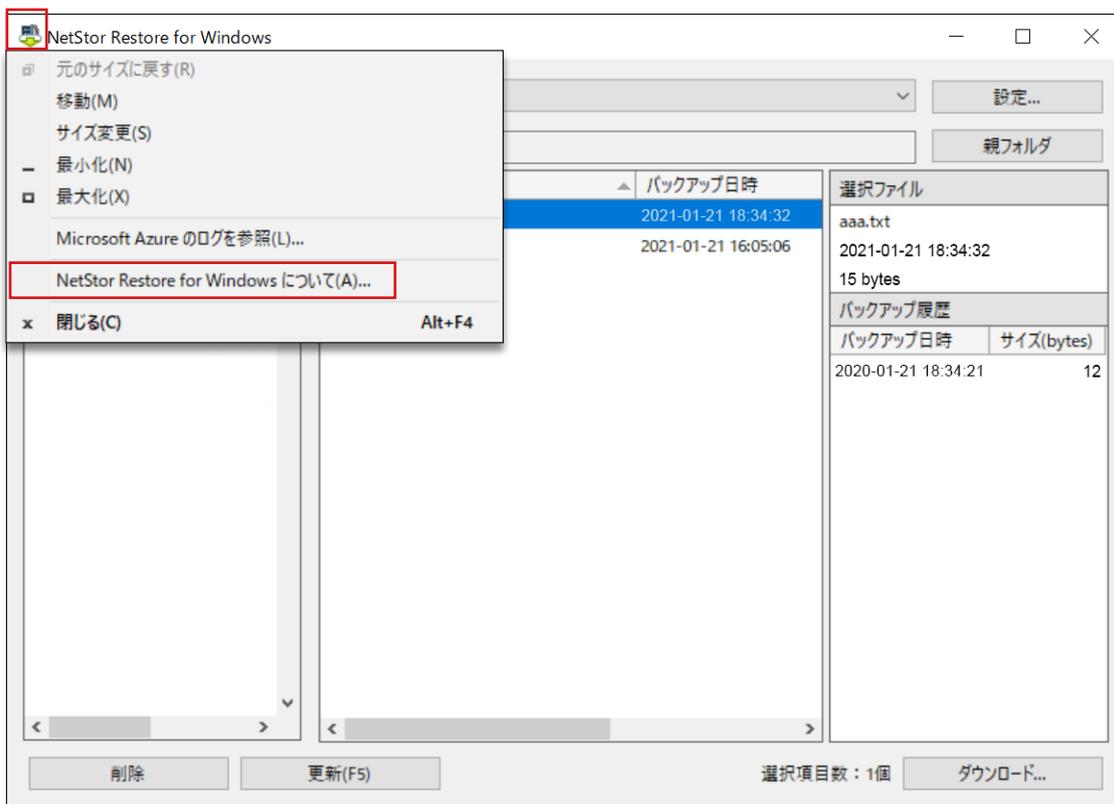
アンインストール開始時に「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合があります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックしてください

アンインストールが完了すると、プログラム一覧から「NetStorRestore」が消去されます。

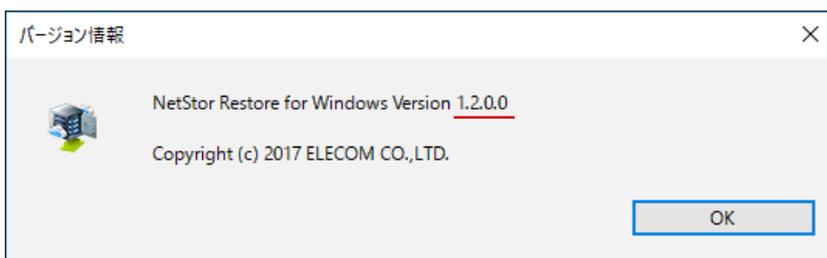
4.7

バージョンの確認方法

- 1 メイン画面左上のアイコンをクリックし、システムメニューを表示します。



- 2 表示されるメニューから [NetStor Restore for Windowsについて] をクリックします。
バージョン情報が表示されます。バージョン情報が表示されます。



※ ご利用の環境、インストール時期により、表示されるアイコンやバージョンは異なる場合がございます。

バックアップ&リストアツール NetStor Backup for Windows / NetStor Backup for Linux / NetStor Restore for Windows
ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社